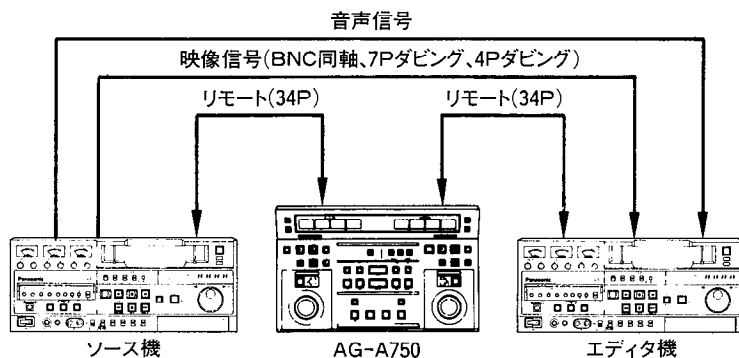


34P 編集コントローラを使ったシステム

本機に、34P編集コントローラ(別売品)を接続しますと、編集コントローラから本機をコントロールし、精度の高い編集を行うことができます。



1 編集コントローラを接続します。

- REMOTE(34ピン)端子の接続をします。
- 音声信号の接続をします。
- 映像信号の接続をします。

2 REMOTE OPERATION(項目NO.3003)を「34P(セットアップNO.01)」に設定します。

ダイヤルメニュー機能で設定します。

3 34P SHTL MAX SPEED(項目NO.3004)を設定します。

ダイヤルメニュー機能で、使用する編集コントローラによって、以下の設定をします。編集コントローラで操作できるシャトルサーチの最高速度を設定します。

10(セットアップNO.00)：10倍速

20(セットアップNO.01)：20倍速

4 34P CONTROLLER TYPE(項目NO.3005)を設定します。

ダイヤルメニュー機能で、使用する編集コントローラの機種タイプを設定します。

TYPE-1(セットアップNO.00)：AG-A800、AG-A750

TYPE-2(セットアップNO.01)：AG-A650、NV-A500、NV-A505

5 CONTROLスイッチを「REMOTE」側にします。

6 編集コントローラ側で本機を操作します。

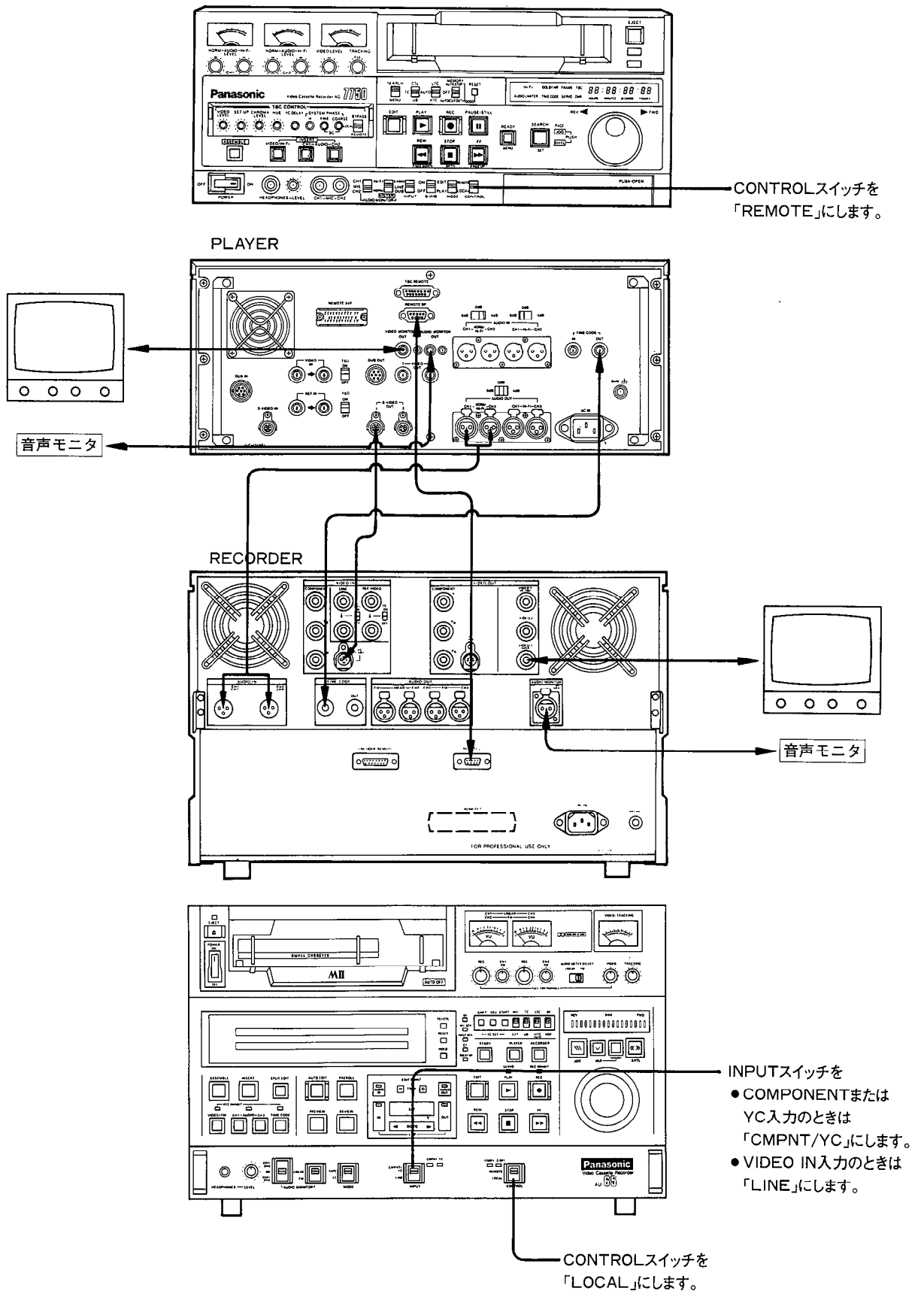
編集コントローラ側の操作説明は、各編集コントローラの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 編集コントローラNV-A500を使用時、プレビュー途中でEDIT STOPボタンを押しても、プレビューが終了しない場合があります。このような場合は、PAUSEボタンを押してください。
- AG-A800を34Pシステムで使用する場合、READY ON/OFF操作でテープが進むことがありますが、編集精度には関係ありません。
- AG-A800を34Pシステムで使用する場合、STOP EEモードで使用してください。STOP PBモードでは、アSEMBル編集でのプレビューが行えません。
- エディタ機側のMODEスイッチ(フロント側)を「EDIT」に、ソース機側を「PLAY」に設定してください。

業務用 MII 機を使ったシステム

本機は、RS-422Aインターフェースを有していますので、業務用MII機と接続することが可能です。



※上記システムは、業務用MII VTR AU-65を使用したものです。

エラー表示について

カウンタディスプレイにエラーが表示されている場合は、本機になんらかの異常が発生しています。このような場合は、速やかに操作を止め、下記の内容に従って対処くださいますようお願いいたします。

エラー表示	エラー内容	対 処
d	露付き	電源を付けたまま、エラー表示が消えるまでお待ちください。 (下記メモ参照)
E- 0	ファンモータロック	販売店にご連絡ください。
E- 2	エレベータロック	販売店にご連絡ください。
E- 3	ローディングロック	販売店にご連絡ください。
E- 4	シリンダロック	販売店にご連絡ください。
E- 5	リールロック	販売店にご連絡ください。
E- 6	テンション異常	販売店にご連絡ください。
E- 7	ソレノイド切れ	販売店にご連絡ください。

メモ

「露付きが起こるのは」

これは暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴(露)が付くのと同一原理です。

本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

■湯気がたちこもる、湿度の多いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。

■冷房されているところから、急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

万一、異常が生じましたら、直ちに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを持ってコンセントから抜いた後、お求めの販売店にご連絡ください。
そのままご使用になりますと故障の範囲を大きくしたり、思わぬ事故の原因になる恐れがありますからご注意ください。

故障かな?と思う前に…ちょっと!

下記の項目を点検、調整していただき、それでもなお異常があるときは販売店にご相談ください。

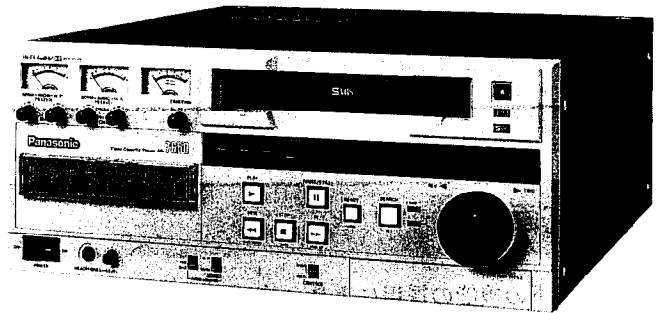
症 状	点 検 ・ 調 整	参照ページ
電源が入らない。	■電源コードは外れていませんか?	—
操作ボタンを押しても動作しない。	■カウンタディスプレイにエラー表示はでていませんか? ■CONTROLスイッチが「REMOTE」になっていませんか? ■サーチダイヤルモードスイッチが「MENU」になっていませんか?	61 24 37
テープの早送り・巻戻しができない。	■テープの早送り・巻戻しが終わっていませんか? ■MEMORYスイッチが「AUTO STOP」になっていませんか?	— 20
録画・編集ができない。	■カセットの「つめ」が折れていませんか? ■INPUTスイッチの設定は正しいですか?	13 24
再生がザラザラしている	■IMAGEスイッチが「EDIT」になっていませんか? ■ビデオヘッドが汚れていませんか?	23 73
通常再生時、画像の一部がしま状になっている	■TRACKING調整が合っていますか?	17
再生画に色がつかない	■入力信号はカラーでしたか? ■ダイヤルメニュー機能でカラーモードがB/Wモードになっていませんか? ■ダビングケーブルを2本接続していませんか?	— 40 55
一定の時間間隔をおいて再生画像が乱れる。	■モニタテレビの垂直同期は合っていますか? ■録画時に電源電圧の変動が激しくなかったですか? ■カセットテープは良好ですか?	— — —

業務用電子編集プレーヤ

AG-7650 S VHS

特 長

- S-VHS 方式による高解像度で鮮明な画質
- TBC によるジッターの抑えられた画質
- DNR による S/N 比の良い画質
- ビデオ出力回路にロジカルコンパルター採用



標準価格 (平成 2 年 11 月現在)
650,000 円

仕 様 (定格)

【一 般】

電 源 : AC 100V 50/60Hz
 消 費 電 力 : 約 75W (単体)
 約 80W (AG-A750 接続時)
 再 生 方 式 : 回転 2 ヘッドアジマス
 S-VHS 規格/VHS 規格
 テ ー プ 速 度 : 33.35mm/sec (通常時)
 使 用 テ ー プ : VHS テープ、S-VHS テープ
 再 生 時 間 : 120 分 (NV-T120 使用時)
 早送り・巻戻し時間 : 約 2 分 (NV-T120 使用時)
 許容周囲温度 : 5°C~40°C
 許容周囲湿度 : 35%~80%
 重 量 : 約 17kg

【映 像】

テレビジョン方式 : NTSC テレビジョン方式 525 本 60 フィールド
 変 調 方 式 : 輝度信号 ; 周波数変調方式
 色信号 ; 低域変換 $\pi/2$ 位相
 出 力 : ライン (BNC) : 1.0Vp-p 75 Ω
 ダビング (7P) : Y ; 1.0Vp-p 1k Ω
 C ; 0.9Vp-p 1k Ω (シアン)
 S-VIDEO (4P) : Y ; 1.0Vp-p 75 Ω
 C ; 0.286Vp-p 75 Ω
 (バースト)

水 平 解 像 度 : VHS ; 白黒 300 本/カラー 240 本
 S-VHS ; 400 本以上 (白黒・カラー)
 S / N : VHS ; 46dB (カラーモード)

【音 声】

出 力 : ライン Hi-Fi (XLR) ; +4/0/-6dBs
 出力インピーダンス 50 Ω
 ライン NORM (XLR) ; +4/0/-6dBs
 出力インピーダンス 50 Ω
 モニタ ; 0dBv 600k Ω 不平衡
 タイムコード (BNC) ; 2.4Vp-p ローインピー
 ダンス 不平衡

ト ラ ッ ク 数 : 4 トラック
 (NORM 音声 2 トラック・Hi-Fi 音声 2 トラック)
 S / N : 48dB 以上
 (DOLBY NR スイッチ「ON」ノーマル音声時)
 Hi-Fiダイナミックレンジ : 90dB 以上
 音声周波数特性 : 50Hz~12kHz (ノーマル音声)
 20Hz~20kHz (Hi-Fi 音声)

はじめに

このたびは、
業務用高級再生機 AG-7650を
お求めいただきまして
まことにありがとうございました。

本機は、産業用、学校用、スタジオ用およびCATV送出用を対象に開発された再生用ビデオカセットプレーヤです。

高画質

以下の機能の採用により、美しい画質が得られます。

- S-VHS方式による、高解像度で鮮明な画質
- TBC(タイムベースコレクタ)による、ジッターの抑えられた画質
- DNR(デジタルノイズレデューサ)による、通常画質より1世代S/N比の良い画質
- ビデオ出力回路にロジカルコムフィルターを採用することにより、ダビング時の色ダレをなくしました。

高信頼性メカニズム

AIサーボによる大径キャプスタン、2リールモータ駆動方式、DDシリンダなどの高信頼性メカニズムの採用で高度な編集が可能になりました。

また、クリーニング機構により、ビデオヘッドのよごれなども軽減されます。

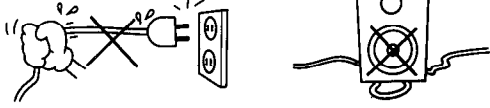
多彩なシステムアップ性

本機は、編集コントローラAG-A800(RS-422A、9ピンシステム)やAG-A750(34ピンシステム)を接続することにより、再生機の機能を十分に生かし、精度の高い自動編集を行うことができます。

また、編集コントローラAG-A650、NV-A500、NV-A505などとの編集システムを組むこともできます。

安全上のご注意

電源はAC100Vをご使用ください。



- 電源プラグは必ずプラグを持って抜き差ししてください。
- 電源コードは熱器具に近づけないでください。
- 電源コードに重いものを乗せないでください。
- 電源コードを加工しないでください。

異物を入れないでください。

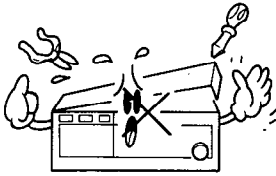


本機の開口部(カセット挿入部など)から金属などを差し込んだり、落とし入れたりしないでください。

異物が本機内部に入った場合は、お買上げ販売店にご連絡ください。

そのまま使用されると火災、感電の原因になります。

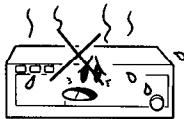
分解しないでください。



内部には高電圧がかかっている箇所がありますので、手を触れると危険なうえ、故障の原因にもなります。

内部の点検、調整はお買上げ販売店にご依頼ください。

故障状態で使用すると危険です。



煙が出ている、変な音やにおいがするなどの場合は、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

目次

各部の名称

前面パネル	6
カウンタディスプレイ部	9
後面パネル部	10

基本操作

電源投入のしかた	12
カセット挿入のしかた	13
再生のしかた	14
早送り・巻戻し・停止・一旦停止のしかた	16
サーチ操作について	17
AUTO STOP機能について	18

各種スイッチ設定

音声系のスイッチ設定	19
1. METERスイッチ	19
2. AUDIO MONITORスイッチ	19
3. AUDIO OUT SELECTスイッチ	19
映像系のスイッチ設定	20
1. DNRスイッチ	20
2. IMAGEスイッチ	20
その他のスイッチ設定	21
1. SYNC SELECTスイッチ	21
2. ON-SCREENスイッチ	21
3. CONTROLスイッチ	21

TBCの調整

TBC(タイムベースコレクタ)部の調整	22
---------------------	----

ダイヤルメニュー機能

ダイヤルメニュー機能の操作	25
SETUP-MENU画面について	28
1. 操作・機能関係のセットアップ	28
2. スーパーインポーズ関係のセットアップ	30
3. リモート関係のセットアップ	31
4. 編集関係のセットアップ	32
5. タイムコード関係のセットアップ	33

タイムコード

タイムコード/ユーザーズビットについて	34
タイムコード/ユーザーズビットの再生	35
スーパーインポーズ画面について	36

接続

基本システムの接続	38
ダビング接続	39

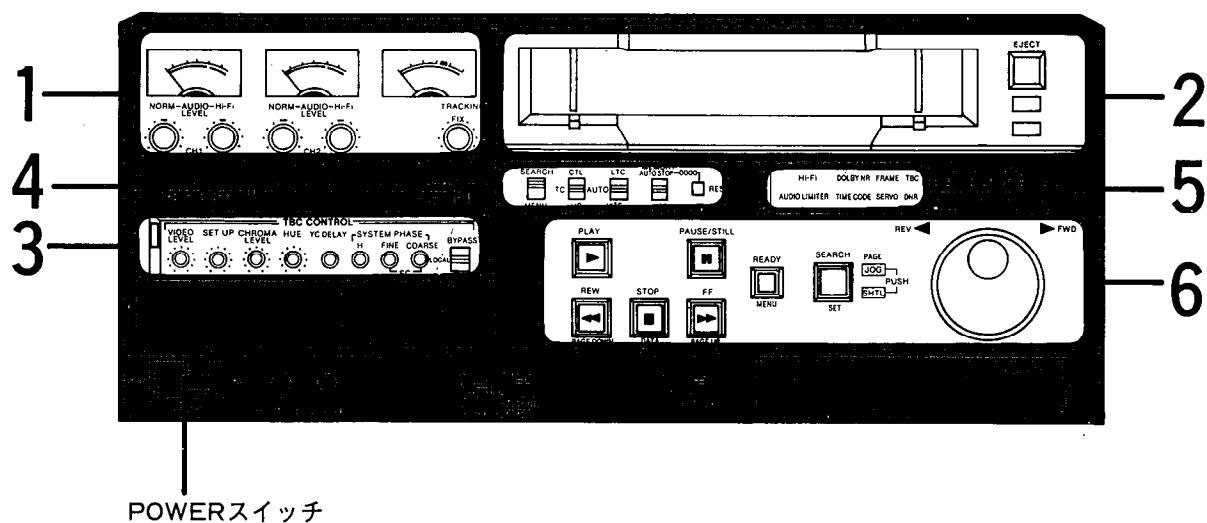
システムアップ

9P編集コントローラを使ったシステム	40
リモートサーチコントローラを使ったシステム	42
34P編集コントローラを使ったシステム	43
業務用MⅡ機を使ったシステム	44

異常事態

エラー表示について	45
故障かな?と思う前に…ちょっと!	46

前面パネル部



POWERスイッチ

*〔 〕内の数字は参照ページです。

1 レベル調整部

- AUDIO(CH1)LEVELメータ ————— CH1再生音声レベルを表示〔14〕
- AUDIO(CH2)LEVELメータ ————— CH2再生音声レベルまたはTCを表示〔14〕
- TRACKINGメータ ————— トラッキング表示〔15〕
- AUDIO(CH1)NORMAL LEVELつまみ ——— ノーマル音声CH1の再生レベル調整〔14〕
- AUDIO(CH1)Hi-Fi LEVELつまみ ————— Hi-Fi音声CH1の再生レベル調整〔14〕
- AUDIO(CH2)NORMAL LEVELつまみ ——— ノーマル音声CH2の再生レベル調整〔14〕
- AUDIO(CH2)Hi-Fi LEVELつまみ ————— Hi-Fi音声CH2の再生レベル調整〔14〕
- TRACKING調整つまみ ————— トラッキングの調整〔15〕

2 カセット関係部

- カセット挿入口 ————— カセットを挿入します。〔13〕
- EJECTボタン ————— カセットの取り出し〔13〕
- カセットインランプ ————— カセット挿入時に点灯〔13〕
- S-VHSランプ ————— S-VHSモード時に点灯

3 TBC CONTROL部

- VIDEO LEVELボリューム ————— ビデオレベルの調整〔23〕
- SET UPボリューム ————— セットアップレベルの調整〔23〕
- CHROMA LEVELボリューム ————— クロマレベルの調整〔23〕
- HUEボリューム ————— ヒューの調整〔23〕
- YC DELAYボリューム ————— YCタイミングの調整〔24〕
- SYSTEM PHASEボリューム ————— システム位相の調整〔25〕
- BYPASSスイッチ ————— TBCの使用モード切り替え〔23〕

4 機能設定部


サーチダイヤルモードスイッチ	サーチダイヤルの動作モード切り替え〔13,25〕
DISPLAYスイッチ	ディスプレイ表示モードの切り替え〔35〕
TIME CODEモードスイッチ	タイムコードの読み取りモードの切り替え〔35〕
MEMORYスイッチ	テープ位置の記憶〔18〕
RESETボタン	CTLカウンタのリセット〔18〕

5 機能表示ランプ部

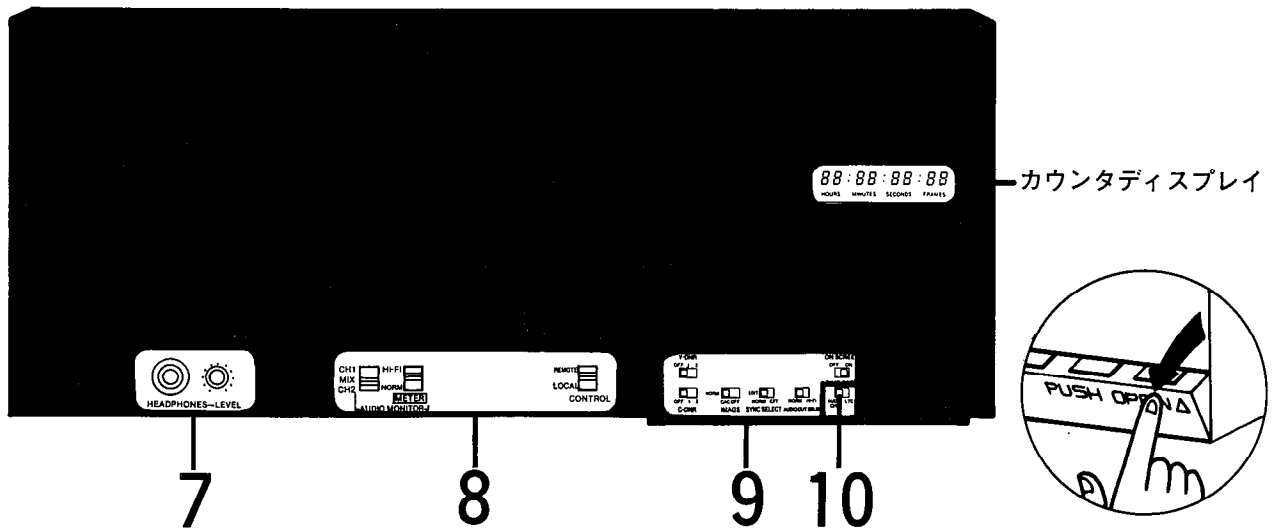
Hi-Fiランプ	Hi-Fi音声記録・再生時点灯
DOLBY* NRランプ	ドルビーNRシステム使用時点灯〔29〕
TBCランプ	TBC使用時に点灯
TIME CODEランプ	ノーマル音声CH2トラックをタイムコードトラックとして使用時に点灯
SERVOランプ	サーボロック時に点灯
DNRランプ	デジタルノイズレデューサ使用時に点灯〔20〕

6 基本操作部

PLAYボタン	再生開始〔14〕
PAUSE/STILLボタン	再生時は静止画、録画時は一時停止〔16〕
REW(PAGE DOWN)ボタン	テープの巻戻し〔16〕 MENUモード時は、ページダウン〔25〕
STOP(DATA)ボタン	すべての動作の停止〔16〕 MENUモード時は、DATA設定〔26〕
FF(PAGE UP)ボタン	テープの早送り〔16〕 MENUモード時は、ページアップ〔25〕
READY(MENU)ボタン	テープ保護モード(READY OFF)への移行・解除〔28〕 MENUモード時は、メニューの表示〔25〕
SEARCH(SET)ボタン	サーチの実行・解除〔17〕 MENUモード時は、メニューの設定〔27〕
SEARCHダイヤル	サーチ速度の調整〔17〕 MENUモード時は、メニューの選択〔25〕

*ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。

前面パネル部(つづき)



* []内の数字は参照ページです。

押すと開きます。

7 ヘッドホン・マイク部

HEADPHONE端子 ————— M6のステレオヘッドホン用接続端子〔15〕
 HEADPHONE LEVEL調整つまみ ————— ヘッドホンの音量調整〔15〕

8 機能設定部

AUDIO MONITOR METERスイッチ ————— モニタ音声の種類、チャンネル選択〔19〕
 CONTROLスイッチ ————— リモート/ローカル状態の切り替え〔21〕

9 ポケット内機能設定部

Y-DNRスイッチ ————— Y信号用DNR作動スイッチ〔20〕
 C-DNRスイッチ ————— C信号用DNR作動スイッチ〔20〕
 IMAGEスイッチ ————— ビデオモードの切り替え〔20〕
 SYNC SELECTスイッチ ————— 同期信号の切り替え〔21〕
 AUDIO OUT SELECTスイッチ ————— 出力音声の種類を選択〔19〕
 ON SCREENスイッチ ————— モニタテレビにデータ表示〔21〕

10 タイムコード設定部

AUDIO CH2/LTCスイッチ ————— タイムコードの再生チャンネル選択〔35〕

カウンタディスプレイ部

サーチダイヤルモードスイッチが「SEARCH」の場合

DISPLAY スイッチ	カウンタディスプレイ表示	備考
CTL	- 8 : 88 : 88 : 88 HOURS MINUTES SECONDS FRAMES	■■■■部分は、 DFで[.] NDFで[:] CTL補間時で[]にな ります。
TC	88 : 88 : 88 : 88 HOURS MINUTES SECONDS FRAMES	
UB	88 88 88 88	

●「TC」、「UB」は別売品AG-F700が装着時のみ表示可能です。

サーチダイヤルスイッチが「MENU」の場合

モード	カウンタディスプレイ表示	備考
SELECT PAGE	5U : 88 88	■■■■部分は、点減表示 です。
SET PAGE	5U : 88 88 . 88	

アワーメータのディスプレイ表示

モード	カウンタディスプレイ表示	備考
キャプスタン 回転積算時間	[88 88 84	CONTROLスイッチを REMOTE側にして、 サーチダイヤルモード スイッチをMENU側に します。
総ドラム 回転積算時間	d 88 88 84	

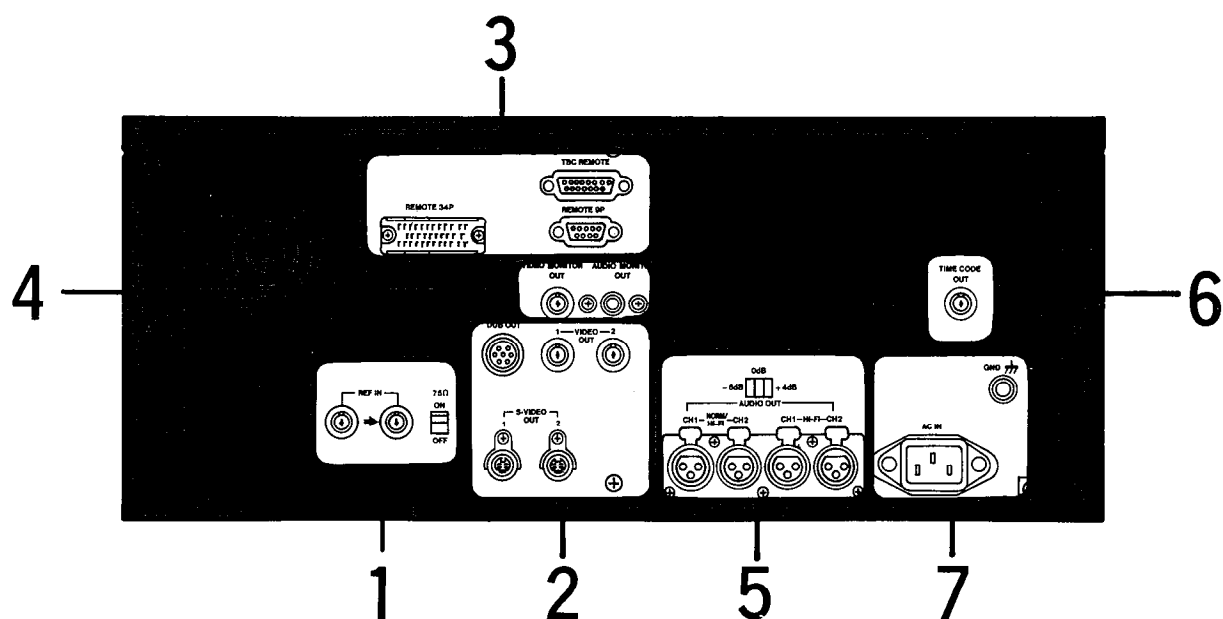
VITC POSITION表示

RESETボタンを押している間以下の項目が表示されます。

モード	カウンタディスプレイ表示	備考
VITCの位置が読み 取れた場合	88 . 88 L	CONTROLスイッチを REMOTE側にして、 サーチダイヤルモード スイッチをSEARCH側 にします。
VITCの位置が読み 取れなかった場合	- - . - - L	

●別売品AG-F700が装着時のみ表示可能です。

後面パネル部



*〔 〕内の数字は参照ページです。

- 1 入力信号部**
 REF IN端子 ————— 外部基準信号(ブラックバーストやカラーバー信号)の入力端子(ループスルー75Ω終端スイッチ付)
-
- 2 映像出力信号部**
 DUB OUT端子 ————— 7Pダビングケーブル用出力端子〔39〕
 S-VIDEO OUT端子 ————— S-VIDEO信号の出力端子〔39〕
 VIDEO OUT (1,2) 端子 ————— 映像信号の出力端子
-
- 3 リモート信号部**
 REMOTE 34P端子 ————— 編集コントローラ(34P)などの接続端子〔43〕
 TBC REMOTE端子 ————— TBCリモートコントローラの接続端子〔23〕
 REMOTE 9P端子 ————— 編集コントローラ(9P)などの接続端子〔40〕

4 モニタ出力信号部

VIDEO MONITOR端子 ————— 映像モニタ信号の出力端子

AUDIO MONITOR端子 ————— 音声モニタ信号の出力端子

5 音声出力信号部

出力音声レベルスイッチ ————— 出力レベル-6/0/+4dBsに切り替えます。

NORM/Hi-Fi音声出力端子 ————— NORM/Hi-Fi音声(CH1/2)の出力端子

Hi-Fi出力端子 ————— Hi-Fi音声専用出力端子

6 タイムコード信号部

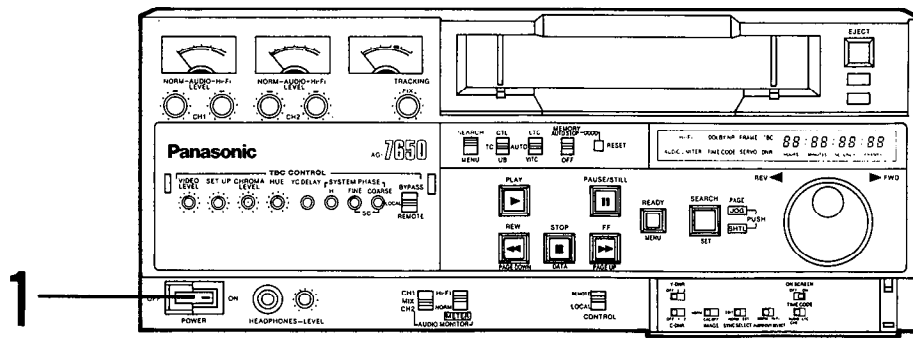
TIME CODE OUT端子 ————— タイムコード信号の出力端子

7 電源回路部

GND端子 ————— 他の機器と接続する場合は、必ずアース接続を行って
ください。

AC IN端子 ————— AC 100Vの電源コンセントに接続

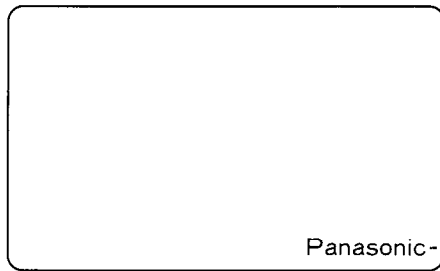
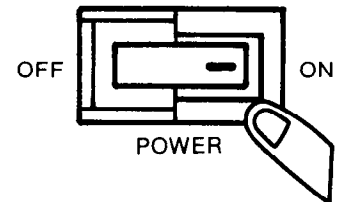
電源投入のしかた



1 POWERスイッチを押します。

電源が入ります。

- 後面のVIDEO MONITOR OUT端子からの映像に、「Panasonic」のロゴをスーパーインポーズします。



-----カセットがすでに挿入されている場合は表示されません。

- カセットを挿入すると、表示は消えます。
(ポケット部のON-SCREENスイッチが「ON」の場合は、以下のような表示になります。)

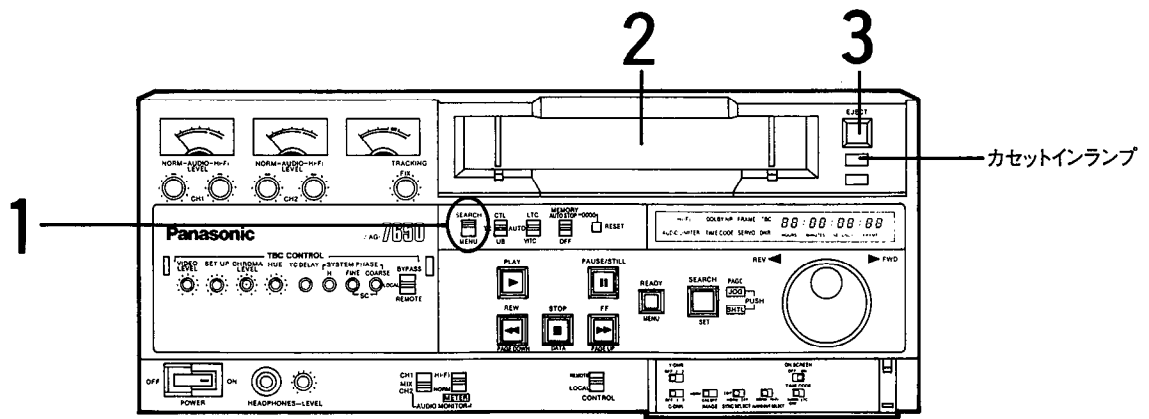


VTRの動作モード

VTRの動作モードは、ダイヤルメニュー機能の項目(No.2004)が「ON」の場合のみ表示されます。

- ご注意** ■エラー表示がディスプレイに出ている場合は、ただちに操作を止め45ページをお読みください。

カセット挿入のしかた



1 サーチダイヤルモードスイッチを「SEARCH」側にします。

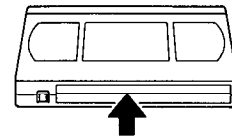
- サーチダイヤルモードスイッチが「MENU」側になっていますと、ダイヤルメニュー機能以外の操作は行えなくなります。



2 カセットテープを挿入するには

カセット挿入口にカセットを入れ、カセットの中央部をゆっくり押します。

カセットインランプが点灯します。

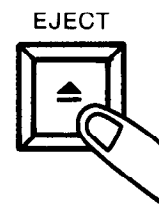


3 カセットテープを取り出すには

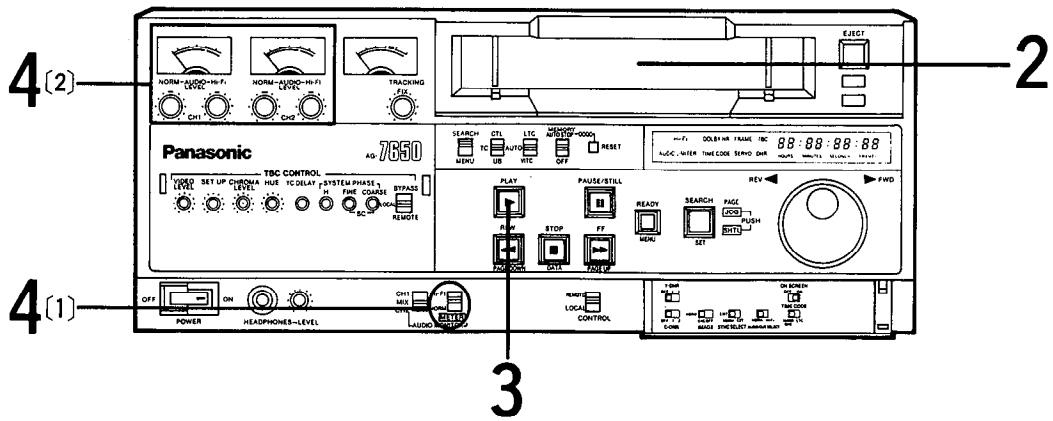
EJECTボタンを押します。

カセットが出てきますので、まっすぐに引き抜いてください。

カセットインランプが消灯します。

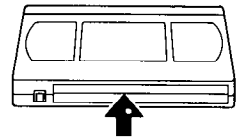


再生のしかた



- 1 各スイッチ設定をします。(19～21ページ参照)
CONTROLスイッチ ⇒ 「LOCAL」
DIAL SELECTスイッチ ⇒ 「SEARCH」

- 2 カセットを挿入します。(13ページ参照)
既に、映像・音声記録されているテープを挿入します。



- 3 PLAYボタンを押します。
再生が開始されます。



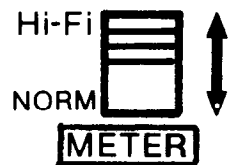
- 4 音声再生レベルを調整します。

〔1〕調整する音声の選択

METERスイッチを切り替えます。

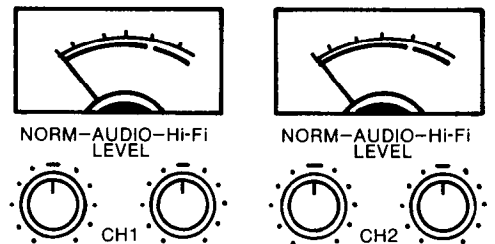
Hi-Fi : Hi-Fi音声レベルがメータに表示されます。

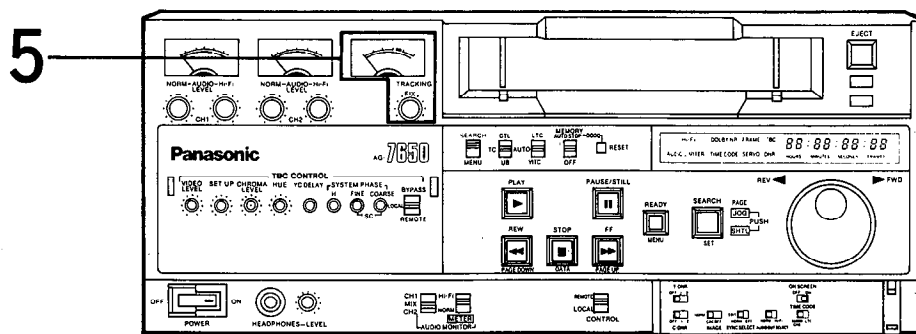
NORM : ノーマル音声レベルがメータに表示されます。



〔2〕レベルの調整

各レベル調整つまみを回して、レベルメータの「0」の位置を超えない範囲で、希望の値に調整します。

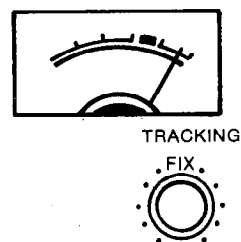




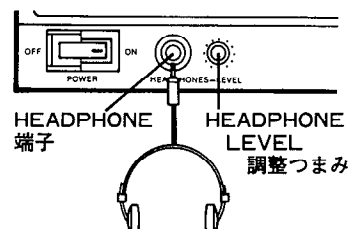
5 トラッキングを調整します。

TRACKING調整つまみをゆっくり左右に回し、TRACKINGメータの針が最大になるように調整します。

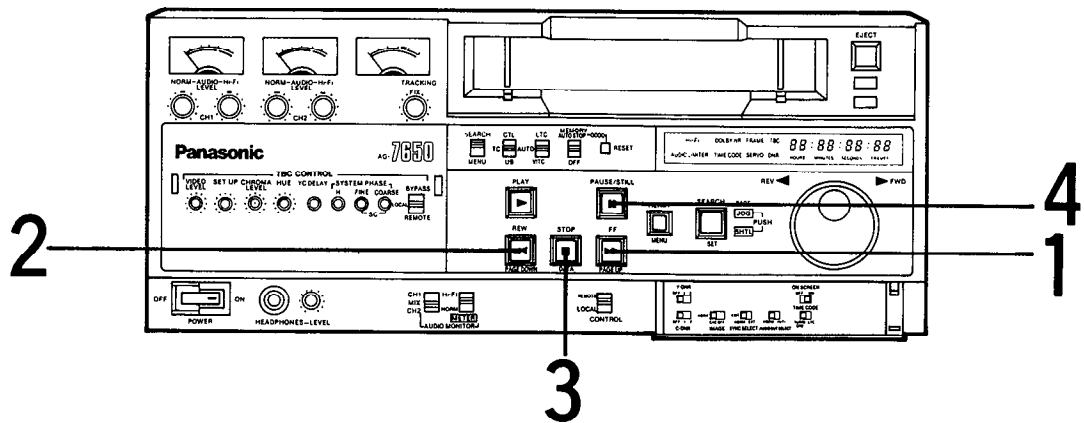
- 通常はTRACKING調整つまみを中央のFIX点で再生を行ってください。



- ご注意**
- ドルビーNRシステムで記録されたテープを再生する場合は、ダイヤルメニュー機能でドルビーNRシステムONの設定をします。(29ページ参照)
 - 再生時にトラッキングがずれると、Hi-Fi音声記録されていても、Hi-Fiランプは消灯しHi-Fi音声は出力されません。
 - ヘッドホンを使用する場合
ハイインピーダンスのヘッドホンを接続すると、音量レベルが変わる場合があります。



早送り・巻戻し・停止・一時停止のしかた



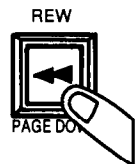
1 早送りのしかた

FFボタンを押します。



2 巻戻しのしかた

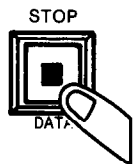
REWボタンを押します。



3 停止のしかた

STOPボタンを押します。

■STOPボタンが点灯し、すべての動作が停止します。



4 一時停止のしかた

再生中にPAUSE/STILLボタンを押します。

PLAY/STILL状態になり静止画像が再生されます。



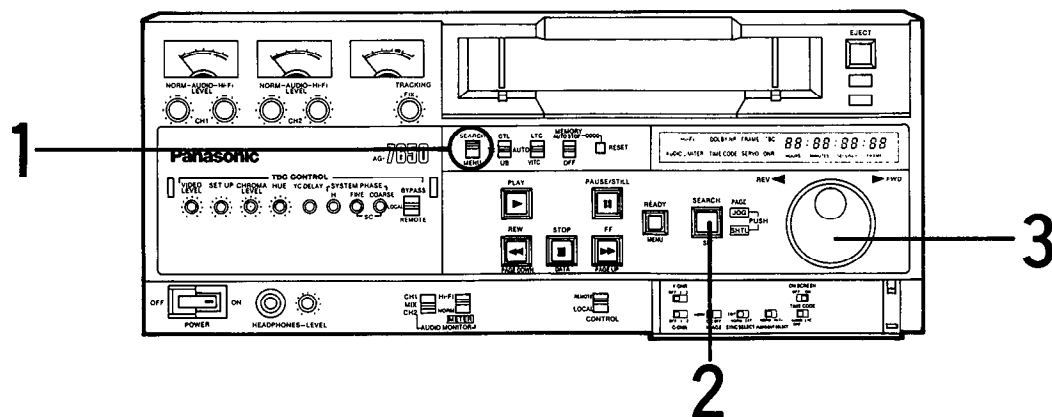
ご注意

■CONTROLスイッチは「LOCAL」にします。

■DIAL SELECTスイッチは「SEARCH」にします。

■STOP、PAUSE/STILL状態を設定時間以上(ダイヤルメニュー機能で設定可能)続けると、自動的にテープ保護モードになります。(ダイヤルメニュー機能項目NO.1001~1003、28ページ参照)

サーチ操作について



- 1** サーチダイヤルモードスイッチが「SEARCH」側であることを確認してください。



- 2** SEARCHボタンを押します。

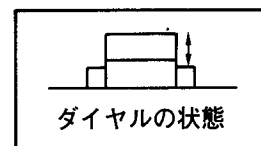
SEARCHボタン、PLAYボタン、PAUSE/STILLボタンが点灯し、サーチ可能状態になります。



- 3** サーチダイヤルを操作します。

サーチダイヤルを押すごとに、JOGモードとSHUTTLEモードが入れ替わります。

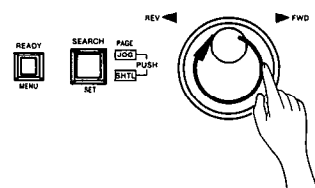
■右に回すと正方向再生(FWDランプ点灯)、左に回すと逆方向再生(REVランプ点灯)になります。



〔1〕 JOGモードの場合

ダイヤルを回す速度に応じて、静止画～±1倍速再生まで操作できます。

回転を止めると、常に静止画像になります。

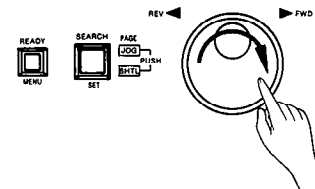


〔2〕 SHUTTLEモードの場合

ダイヤルの回す角度に応じて、0～±32倍速まで再生速度を操作できます。

(ただし、テープの始終端付近では、テープ保護のため低速サーチ状態になります。)

中央位置(クリック点)では静止画像になります。

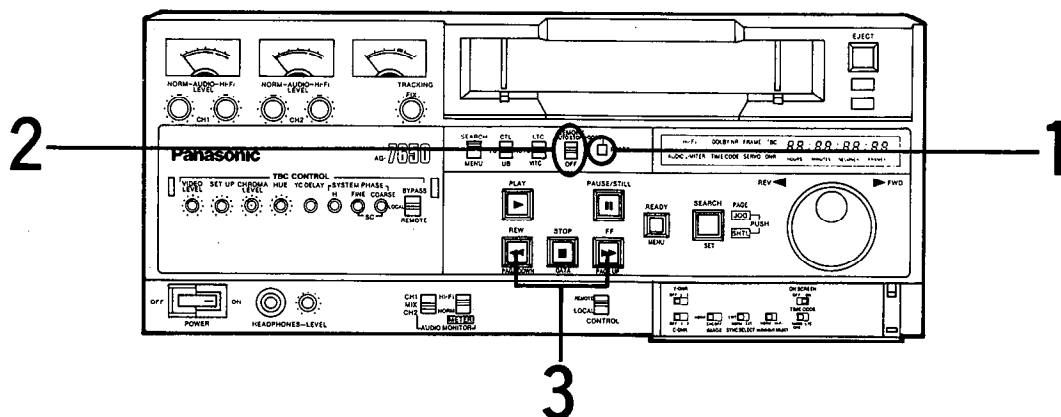


ご注意 ■CONTROLスイッチは「LOCAL」側にしておきます。

■SHUTTLEモードの場合、再度電源を入れたときは、ダイヤルを中央位置(クリック点)まで一度戻してから操作してください。

■ダイレクトサーチモードを設定する場合は、ダイヤルメニュー機能「DIRECT SEARCH」(項目NO. 1005)を「ON」にします。(28ページ参照)

AUTO STOP 機能について



1 自動停止させたい位置でRESETボタンを押します。

テープカウンタが「0:00:00:00」になります。

RESET

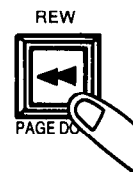


2 MEMORYスイッチを「AUTO STOP」側にします。



3 早送り、巻戻しを行います。

テープカウンタが「0:00:00:00」付近になると、自動停止します。



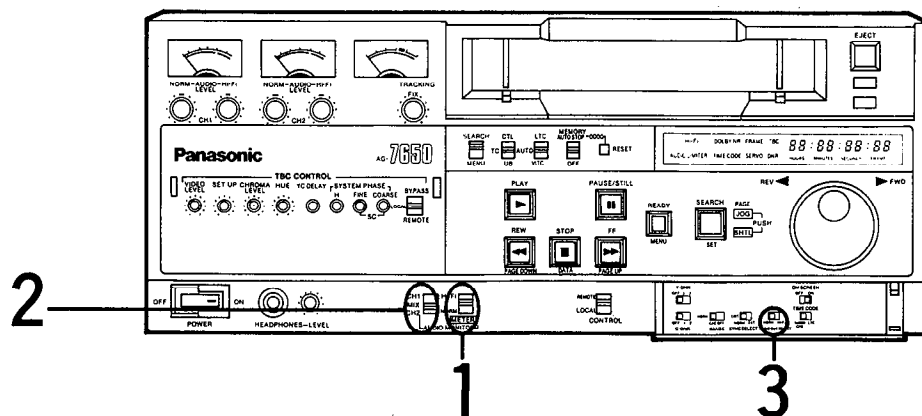
または



ご注意 ■AUTO STOP機能は以下の場合働きません。

- CONTROLスイッチが「REMOTE」の場合
- DISPLAYモードスイッチが「CTL」以外の場合

音声系のスイッチ設定



1 METERスイッチの設定

レベルメータに表示される音声と、前面のヘッドホン端子や後面のAUDIO MONITOR端子から出力される音声を選択します。

Hi-Fi : Hi-Fi音声を選択されます。

NORM : ノーマル音声を選択されます。



2 AUDIO MONITORスイッチの設定

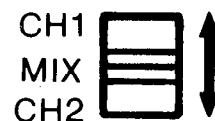
前面のヘッドホン端子と後面のAUDIO MONITOR端子から出力される音声チャンネルを選択します。

CH1 : CH1の音声が出力されます。

MIX : AUDIO MONITOR端子からは、CH1とCH2の混合音声が出力され、ヘッドホン端子からは、左側はCH1、右側はCH2の音声が出力されます。

CH2 : CH2の音声が出力されます。

■ポケット部のAUDIO CH2/LTCスイッチがLTC側にあるときは、ノーマル音声CH2から音声は聞こえません。



3 AUDIO OUT SELECTスイッチの設定

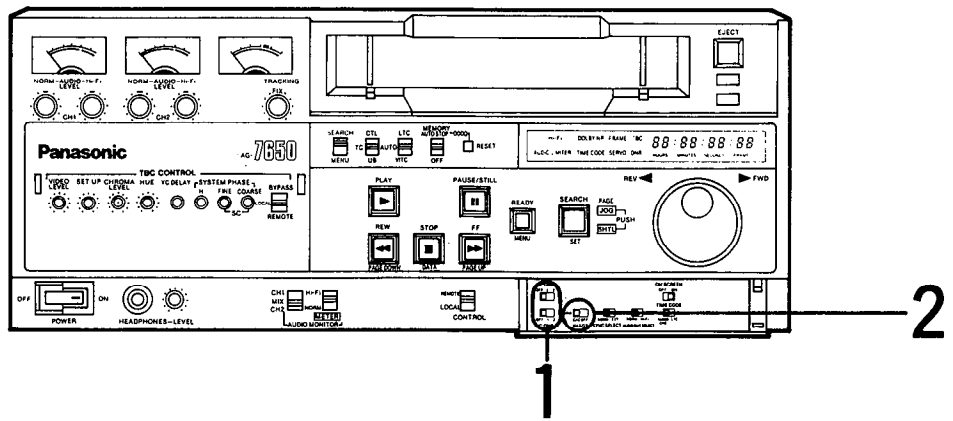
後面のAUDIO OUT (NORM/Hi-Fi) 端子から出力される音声を選択します。

Hi-Fi : Hi-Fi音声が出力されます。

NORM : ノーマル音声が出力されます。



映像系のスイッチ設定



1 DNR(デジタルノイズレデューサ)スイッチの設定

S/N比の劣化したテープを再生する場合、画質に応じたノイズ除去を行うことができます。(ただし、若干の解像度の劣化が発生します。)

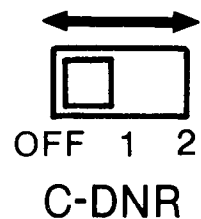
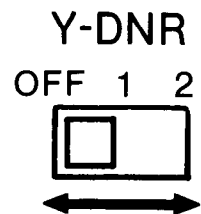
- 編集時は「OFF」にしてください。編集を重ねると画面が乱れる場合があります。
- DNR ONでダビングを重ねると残像がめだちます。

Y (C) 信号のノイズ除去

OFF：輝度(色)信号にDNR処理を行いません。

- 1：輝度(色)信号にDNR処理(レベル1)を行います。低S/N信号に対し2~3dBの改善ができます。
- 2：輝度(色)信号にDNR処理(レベル2)を行います。低S/N信号に対し5~6dBの改善ができます。

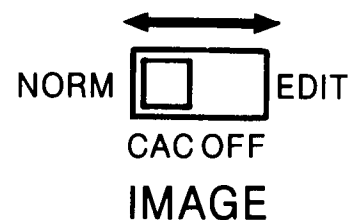
■DNRスイッチは、TBCモードスイッチが「BYPASS」時には動作しません。



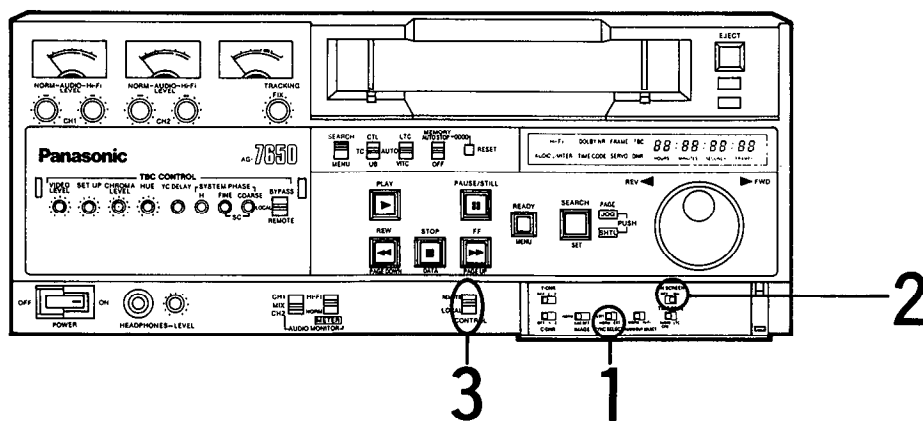
2 IMAGEスイッチの設定

VTR2台で、S-VIDEO/LINE信号を編集する場合に「EDIT」にします。

- NORM**：通常使用時はこの位置にします。
輝度信号と色信号のノイズキャンセラーとCAC機能(色信号の色にじみを改善し、色信号のエッジを強調する機能)が動作します。
- CAC OFF**：NORMモードからCAC機能が解除されます。
(色信号が強調され過ぎる場合は、この位置にしてください。)
- EDIT**：編集時はこの位置にします。



その他のスイッチ設定



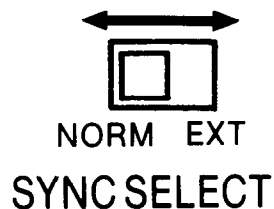
1 SYNC SELECTスイッチの設定

同期信号を選択します。

NORM：内部同期信号に同期します。

EXT：REF IN信号に同期します。

■詳しくは機能解説を参照ください。(51ページ)

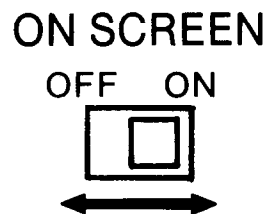


2 ON SCREENスイッチの設定

VIDEO MONITOR端子から出力されるビデオ信号に、タイムコードなどのスーパーインポーズ信号を付加する時に使用します。

ON：スーパーインポーズします。

OFF：スーパーインポーズしません。



3 CONTROLスイッチの設定

REMOTE：コントローラなどで本機をリモートコントロールする場合、この位置にします。

LOCAL：本機の前面パネルで操作する場合、この位置にします。



■REMOTE時の本機の動作モードは、ダイヤルメニュー項目NO.3001で設定できます。

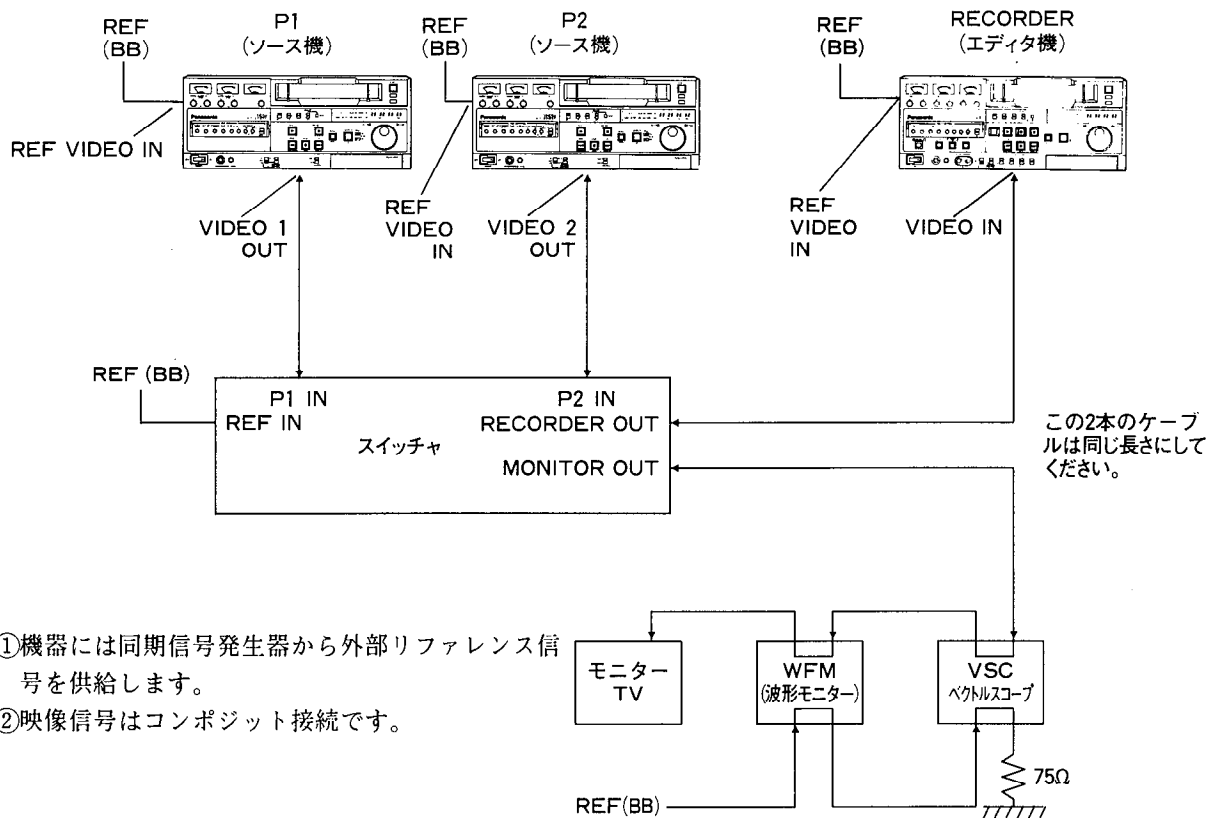
TBC(タイムベースコレクタ)部の調整

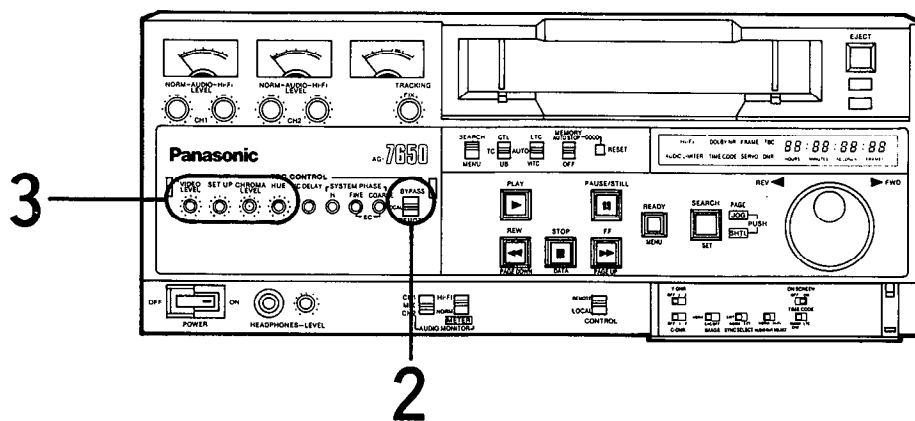
TBCを使用すると、ジッター(画面のゆれ)やスキュー歪み(画面の上部が水平方向に曲がる現象)を低減することができます。

また、編集コントローラを使用してABロール編集(2台のソース機を使った編集方法)などを行う場合、誤差のない正確な編集を行うためには、システム接続後にTBCを調整する必要があります。

(TBCの調整は、接続ケーブルを交換した場合や接続を変えた場合などごとに調整しなおす必要があります。)

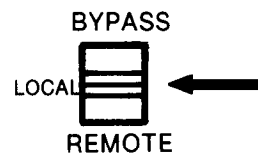
1 以下のように接続します。





2 TBCモードスイッチを「LOCAL」にします。

- 「BYPASS」になっていると、TBCはOFF状態です。
- 「REMOTE」になっていると、本機のTBCは、外部からのリモートコントロールモードになります。
(後面のTBC REMOTE端子に、TBCリモートコントローラなどを接続します。)



3 単体での調整を行います。

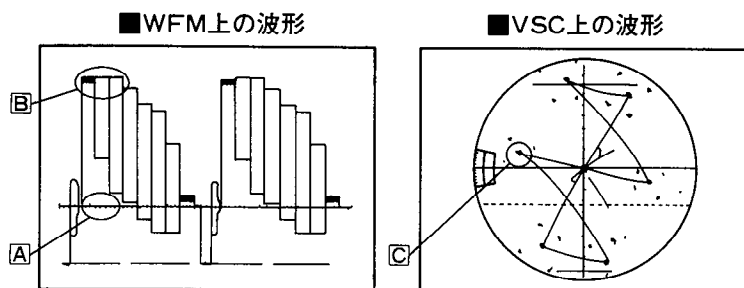
本機のTBCは、標準カラーバーで既に調整されています。通常は、クリック点でご使用ください。ご使用になるテープにおいて、再調整される場合は以下のように行ってください。



(1) ご使用になるテープのカラーバーを再生します。

(2) 各ボリュームを調整します。

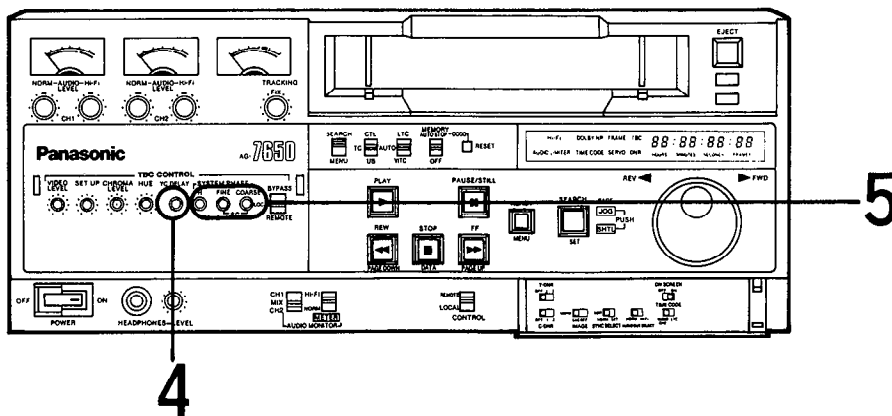
ウェーブフォームモニタ(WFM)、ベクトルスコープ(VSC)が以下になるように、A、B、Cの順番で各ボリュームを調整します。



- Ⓐ: セットアップレベル
ズレをなくすように調整します。
- Ⓑ: ビデオレベル
100IREに調整します。
- Ⓒ: クロマレベル・ヒュー
二つのボリュームを調整して田マークに各ベクトル波形の光点を入れます。
もしくは、BYPASSモードのVSC上の波形と同じクロマレベル、ヒューに合わせます。

ご注意 ■WFMやVSCが無く、特に上記レベルがずれている場合は、実際にモニタを目で確認しながら調整を行ってください。通常はクリック点でご使用ください。

TBC(タイムベースコレクタ)部の調整(つづき)



4 YC DELAYを調整します。(通常は調整不要です)

再生されるテープのYC DELAYのズレ(色ズレ)に対して調整します。
1ステップで約70nsecの調整ができます。

YC DELAY



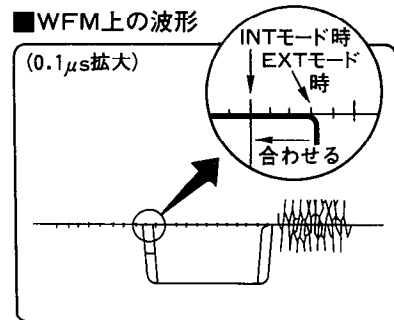
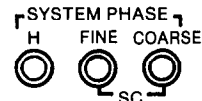
5 SYSTEM PHASEを調整します。

[1] P1 VTRで標準カラーバーを再生します。
(標準カラーバーについては、販売店にご相談ください。)

[2] P1 VTRのSYS PHASEを調整します。

ウェーブフォームモニタ(WFM)が以下のようになるように調整します。

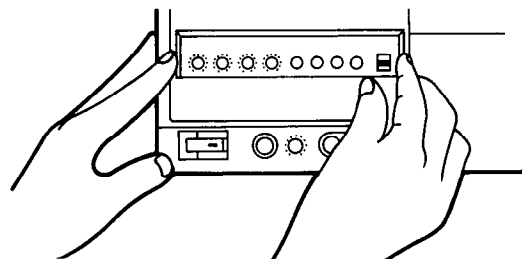
- 1) WFMはINTモード。0.1 μ sに拡大します。
- 2) H SYNCの位置を確認します。
- 3) そのままWFMをEXTモードにします。
- 4) EXTモードにすると、先程のH SYNCの位置がずれる為、SYS PHASEつまみで先程の位置に合わせるように調整します。
(最初にHを調整します。次にSC COARSEで粗調整し、SC FINEで微調整をします。)
- 5) P2 VTRのSYS PHASEも同様に調整します。



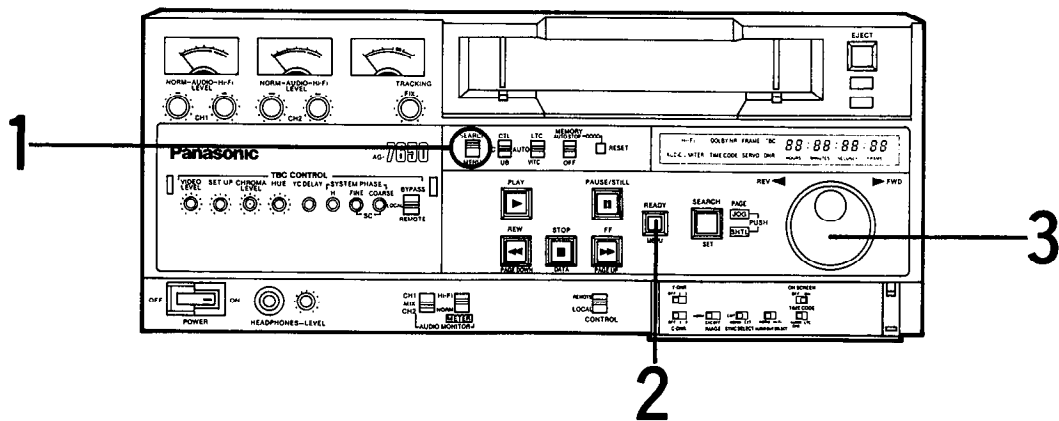
(SYNCの立ち下がりに着目)

メモ TBC部保護カバー(付属品)について

TBC部の各ボリュームの調整がズレないようにするため、付属品のTBC部保護カバーを取り付けます。



ダイヤルメニュー機能の操作



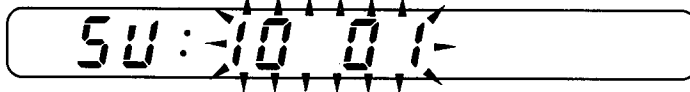
1 サーチダイヤルモードスイッチを「MENU」にします。

■ダイヤルメニュー機能以外の操作はできなくなります。



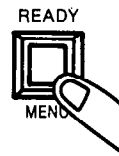
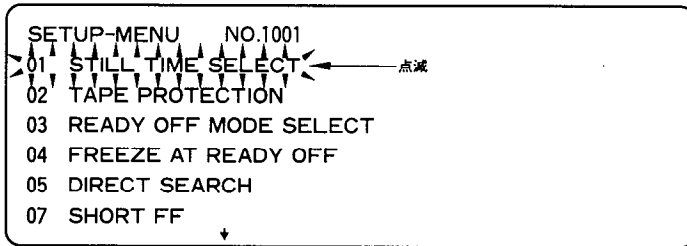
2 READY(MENU)ボタンを押します。

ディスプレイの表示は以下ようになります。



MONITOR VIDEO端子に接続されているモニタにSETUP-MENU画面が表示されます。

モニタの表示は以下ようになります。

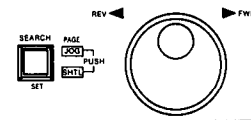


3 サーチダイヤルを回して、設定項目を探します。(ダイヤルはJOGモード状態)

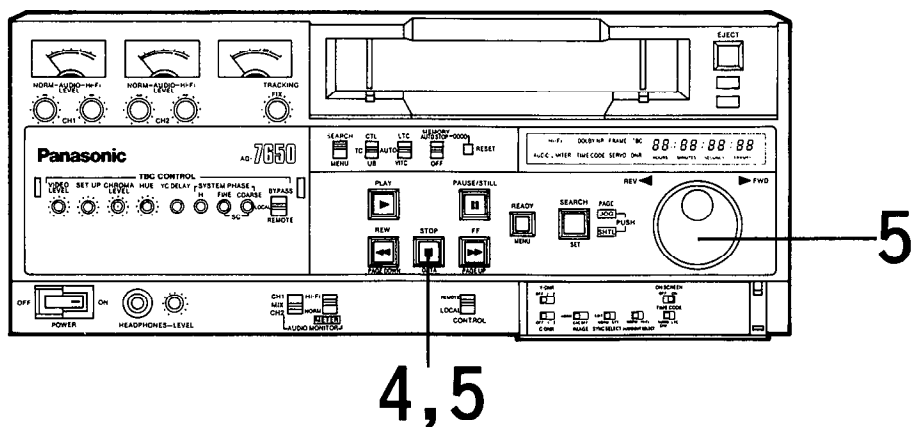
サーチダイヤルの操作は、JOGモード状態で行います。(SHTLモードだと、SHTLランプが点滅し、操作はできません)

右に回すとNO.が1001→1002→1003→・・・のように増加し、左に回すと減少します。(選択されている項目が点滅表示されます。)

■ページ単位でメニューを切り替える場合は、FF (Page Up)、REW (Page Down) ボタンを押します。



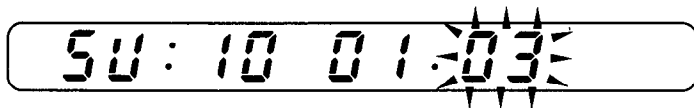
ダイヤルメニュー機能の操作 (つづき)



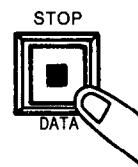
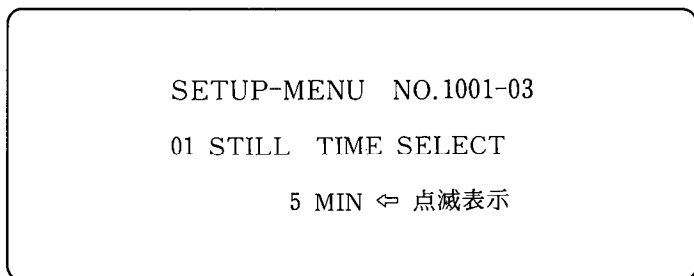
4 希望の項目でSTOP (DATA) ボタンを押します。

STOPボタンを押している間、セットアップ変更画面が表示されます。

ディスプレイの表示は以下のようになります。



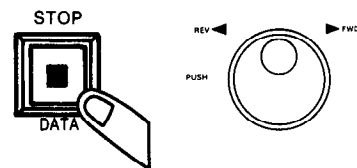
モニタの表示は以下のようになります。



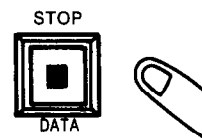
5 STOP (DATA) ボタンを押しながら、サーチダイヤルを回します。

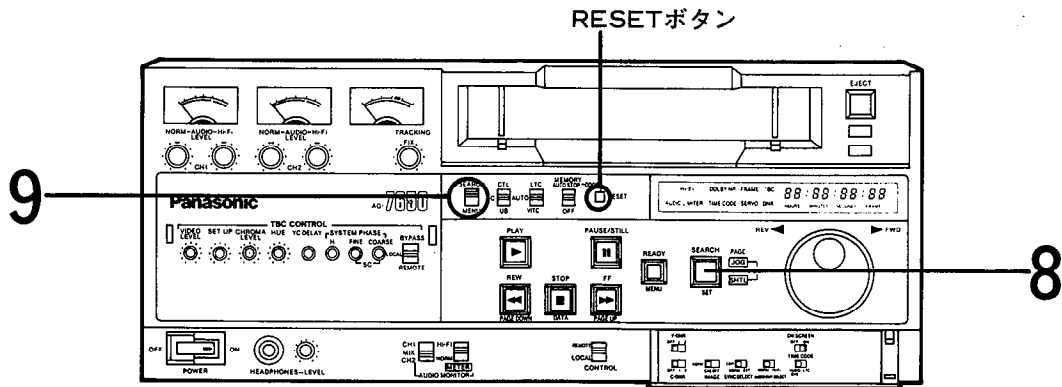
点滅表示が変わりますので、希望の値に設定してください。

■サーチダイヤルの操作は、JOGモード状態で行います。



6 STOP (DATA) ボタンから指を離します。



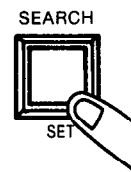


7 3~6の操作を繰り返します。

セットアップ変更を行いたい項目は、すべて希望の値に設定します。

8 設定終了後、SEARCH(SET)ボタンを押します。

セットアップ変更が確定されます。



9 サーチダイヤルモードスイッチを「SEARCH」に戻します。

通常の画面に戻ります。

■8の項でSETボタンを押さないと、スイッチを「SEARCH」に戻すと、設定は無効になります。



ご注意 ■セットアップを初期設定(工場出荷時)に戻すにはSETUP-MENUが表示されているときに、RESETボタンを押します。以下のメッセージが表示されます。

SETUP-MENU INIT. SET
OK? (PUSH PLAY KEY)

PLAYボタンを押すと、初期設定に戻ります。

SETUP-MENU 画面について

操作・機能関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	スーパー表示	NO.	スーパー表示	
1001	STILL TIME SELECT	00 01 02 ■■■■	10 SEC 30 SEC 1 MIN	STOP, STILLの状態で放置された場合、テープ保護のため自動的に、TAPE PROTECTION MODEになるまでの時間を選択します。
1002	TAPE PROTECTION	00 ■■■■	READY OFF	上記のSTILL TIMEが経過後のモードを選択します。 00: READY OFFモードになります。 01: テープを保護するため、テープがコマ送りされます。
1003	READY OFF MODE SELECT	■■■■ 01 02	DRUM STOP UNLOADING	READY OFF状態の動作を選択します。 00: テープルー징でドラム回転 01: テープルー징でドラム停止 02: アンローディング
1004	FREEZE AT READY OFF	■■■■ 01	ON	READY OFF直前の映像をTBCがメモリするかどうかを選択します。(TBC ON時のみ動作可能)
1005	DIRECT SEARCH	■■■■ 01	ON	ダイレクトサーチモードを設定します。 00: 通常のサーチ操作 01: サーチボタンを押さなくても、サーチダイヤルを操作すると、自動的にサーチモードになります。
1007	SHORT FF	00 ■■■■	OFF	ショートFF機能を設定します。 00: ショートFF動作を行いません。 01: テープ始端でショートFF動作を行います。
1008	AUTO REW	00 ■■■■	OFF	オートリwind機能を設定します。 00: テープ終端になると、停止します。 01: テープ終端になると、自動的にテープ始端まで巻戻して停止します。
1009	VIDEO MODE	00 ■■■■ 02	COLOR B/W	再生ビデオ信号のカラーモードを選択します。 00: 強制的にカラーモードになります。 01: 自動的にカラーモードを検出します。 02: 強制的に白黒モードになります。

■■■■ は初期設定(工場出荷時)を示します。

操作・機能関係のセットアップ

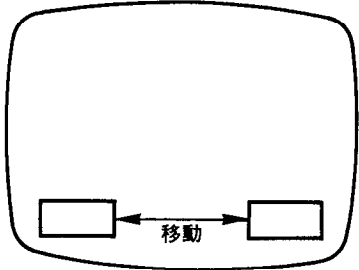
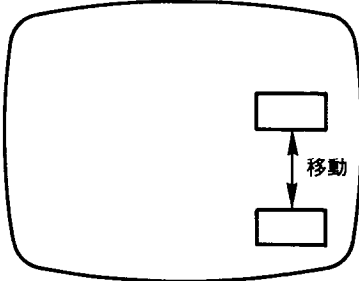
項 目		セットアップ値		機 能 説 明									
NO.	スーパー表示	NO.	スーパー表示										
1010	Y/C FILTER	00	OFF	Y/Cフィルタを設定します。 00：YクシフィルタがOFFになります。 01：YクシフィルタがONになります。 (DUB OUT端子は、このスイッチとは関係ありません。)									
1012	DOLBY NR	01	ON	DOLBY NRシステムを設定します。 00：DOLBY NRシステムOFF 01：DOLBY NRシステムON ■DOLBY NRシステムについて <table border="1" data-bbox="850 701 1434 952"> <thead> <tr> <th>PLAY REC</th> <th>ON</th> <th>OFF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>雑音の少ない正常な音声が聞けます。</td> <td>高音が強調されます。</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>高音が低下します。</td> <td>正常に聞こえます。</td> </tr> </tbody> </table>	PLAY REC	ON	OFF	ON	雑音の少ない正常な音声が聞けます。	高音が強調されます。	OFF	高音が低下します。	正常に聞こえます。
PLAY REC	ON	OFF											
ON	雑音の少ない正常な音声が聞けます。	高音が強調されます。											
OFF	高音が低下します。	正常に聞こえます。											

*DOLBY NRシステムはノーマル音声のみに有効です。

■ は初期設定(工場出荷時)を示します。

SETUP-MENU 画面について (つづき)

スーパーインポーズ関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	スーパー表示	NO.	スーパー表示	
2001	CHARACTER BACKGROUND	00 ■	スーパー表示を見ながら選択します。	VIDEO MONITOR端子のSUPER表示のバックグラウンド状態を選択します。 00：ブラック表示=LTGR 00：00：00：00 01：ふちどり表示=LTGR 00：00：00：00
2002	CHARACTER H-POSITION	00 01 02 ■ 04 05 06 07	スーパー表示を見ながら選択します。	VIDEO MONITOR端子のSUPER表示の水平方向位置を選択します。NO.を大きくするに従って右方向へ移動します。 
2003	CHARACTER V-POSITION	00 01 02 03 04 05 06 ■	スーパー表示を見ながら選択します。	VIDEO MONITOR端子のSUPER表示の垂直方向位置を選択します。NO.を大きくするに従って下方方向へ移動します。 
2004	STATUS SUPER	00 ■	OFF	スーパー表示にVTRの動作モードを表示するか選択します。 00：表示しません。 01：表示します。

■ は初期設定(工場出荷時)を示します。

リモート関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	スーパー表示	NO.	スーパー表示	
3001	EJECT/STOP FNCTN REM.	00 01	POSSIBLE NOT POSSIBLE	REMOTEモード時、パネル部のEJECT/STOPボタンの動作を設定します。 00：動作可能 01：動作不能
3002	9P DEVICE TYPE SELECT	00 01	OTHER TYPES S-VHS ID	9PのDEVICE TYPE REQUEST COMMANDに対して返信するID CODEを選択します。 00：松下製以外のコントローラを接続する場合 01：松下製のコントローラを接続する場合
3003	REMOTE OPERATION	00 01	9P 34P	リモート制御時のコントローラタイプを選択します。 00：9P RS-422Aシリアルコントロール 01：34Pコントロール
3004	34P SHTL MAX SPEED	00 01	*10 *20	34Pコントローラで制御時のシャトルの最高スピードを選択します。 00：10倍速 01：20倍速
3005	34P CONTROLLER TYPE	00 01	TYPE-1 A750 A800 TYPE-2 A650 A500 A505	接続する34Pコントローラの機種を選択します。 00：AG-A750, AG-A800 01：AG-A650, NV-A500, NV-A505

は初期設定(工場出荷時)を示します。

SETUP-MENU 画面について (つづき)

編集関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	スーパー表示	NO.	スーパー表示	
4001	AUTO PREROLL ENTRY	00	NOT ENTERED	IN点の登録されていないとき、プリロールコマンドによりIN点を登録するか選択します。 00：登録しません。 01：登録します。
4002	PREROLL TIME	00 01 02 03 04 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15	0 SEC 1 SEC 2 SEC 3 SEC 4 SEC 6 SEC 7 SEC 8 SEC 9 SEC 10 SEC 11 SEC 12 SEC 13 SEC 14 SEC 15 SEC	9P制御のプリロールタイムを0秒から15秒まで選択します。
4003	PLAY DELAY	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15	1 FRAME 2 FRAME 3 FRAME 4 FRAME 5 FRAME 6 FRAME 7 FRAME 8 FRAME 9 FRAME 10 FRAME 11 FRAME 12 FRAME 13 FRAME 14 FRAME 15 FRAME	PLAY動作開始時のPLAY DELAY時間を0フレームから15フレームまで選択します。
4004	FRAME SEARVO	00	OFF	フレーミングモードを設定します。 00：EIAスタンダード信号(RS-170)に適合しない信号が入力される場合は、この位置にします。フレーミングは行われません。 01：EIAスタンダード信号(RS-170)に適合する信号を入力する場合はこの位置にすると、フレーミングが行われます。

は初期設定(工場出荷時)を示します。

タイムコード関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	スーパー表示	NO.	スーパー表示	
5001	DROP/NON-DROP FRAME	00	00	タイムコードまたはコントロール信号に対しての時間ずれ補正を設定します。 00：ノンドロップフレーム処理で、時間ずれ補正を行わず、30フレームで1秒として演算します。 01：ドロップフレーム処理で、カラー同期と実時間のずれを補正します。 0、10、20、30、40、50を除く正分の開始から2フレーム(.00 .01)をスキップします。
		01	DROP FRAME	
5002	TC SOURCE SELECT	00	00	タイムコードモードがAUTOのとき、VITC/LTCどちらを優先させるかを選択します。 00：VITCを優先します。 01：LTCを優先します。
		01	LTC	

* NO.5002の設定は、別売品のタイムコード基板AG-F700が、本機に装着されている場合のみ表示されます。
 ■■■■■ は初期設定(工場出荷時)を示します。

タイムコード/ユーザズビットについて

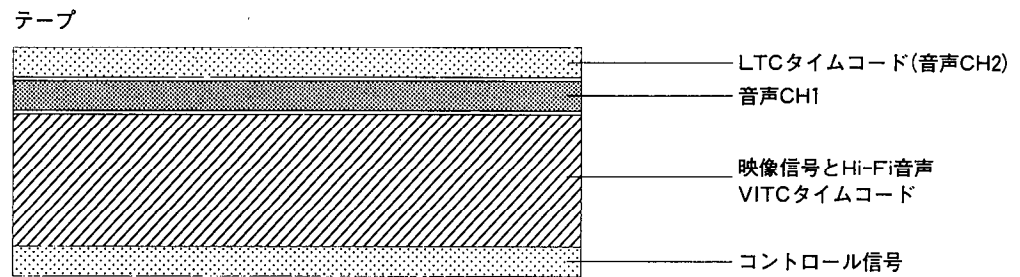
タイムコード

タイムコードとは、タイムコードジェネレータ(タイムコード信号発生器)によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー(タイムコード信号読取器)で、その値を読み取り、テープの絶対位置を時:分:秒:フレーム単位で表示するときに使います。テープの絶対位置が分かると、正確な編集や素早いサーチ操作を行うことができます。

タイムコードには、LTC(Longitudinal Time Code)とVITC(Vertical Interval Time Code)の二つのタイプがあります。

LTCは、テープ上のノーマル音声CH2用のトラックに記録されています。テープ上の位置情報とユーザズビット情報を読み取ることができます。

VITCは、映像信号の垂直ブランキング区間に記録されていますので、リニアトラックCH2をノーマル音声用に使用していても、テープ上の位置情報とユーザズビット情報を読み取ることができます。



タイムコードの値は、ディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

LTCR 00:07:04:24

タイムコードモード 時 分 秒 フレーム

ユーザズビット

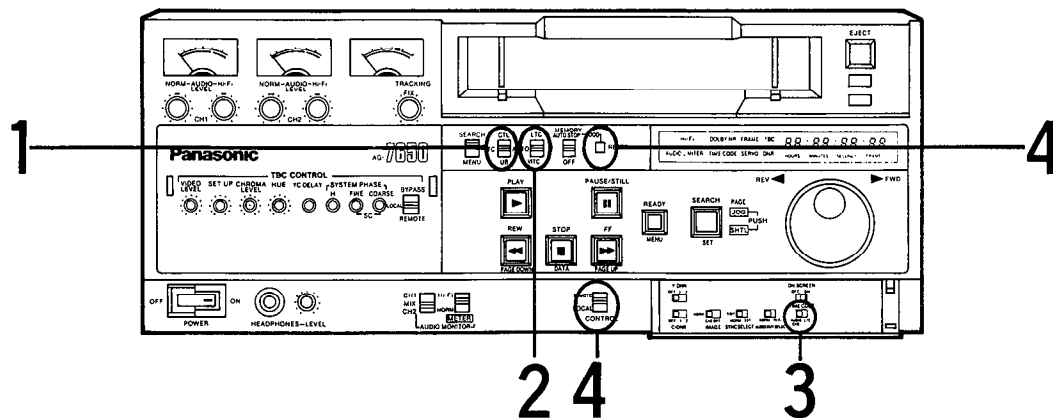
ユーザズビットとは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された情報枠のことです。オペレータナンバーなどが記録されています。

LUBR AB CD EF 88

ユーザズビットで再生される文字は、0~9とA, B, C, D, E, Fの16文字です。
(カウンタディスプレイには、BとDは小文字で表示されます。)

タイムコード/ユーザズビットの再生

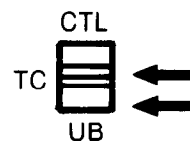
■タイムコード関係の操作は、別売品のAG-F700を本機に装着しないと行うことができません。



1 DISPLAYスイッチを「TC」または「UB」側にします。

TC：タイムコードを再生します。
UB：ユーザズビットを再生します。

■AG-F700が装着されてないと、「TC」、「UB」に切替えてもCTL表示になります。



2 TIME CODEモードスイッチの設定を行います。

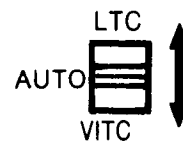
LTC：リニアトラックCH2に記録されているタイムコード信号を読み取ります。

AUTO：ダイヤルメニュー項目NO.5002で選択されたモード(LTCまたはVITC)を優先的に読み取ります。

VITC：VITCだけを読み取ります。

■各モード共、タイムコードが読み取れなくなった場合はCTL信号で補間します。

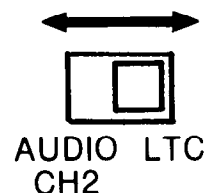
■EXT/INTスイッチを「EXT」に切替えて、外部タイムコードを再生する場合は、「LTC」、「AUTO」、「VITC」に切替えてもLTCしか読み取りません。



3 AUDIO CH2/LTCスイッチの設定を行います。

AUDIO CH2：リニアトラックCH2にノーマル音声記録されている場合、この位置にします。

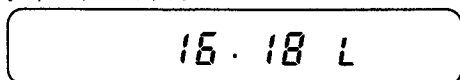
LTC：リニアトラックCH2にLTCのタイムコード信号が記録されている場合、この位置にします。



4 PLAY中にVITCの挿入ラインを確認する場合。

CONTROLスイッチを「REMOTE」にし、RESETボタンを押します。

ディスプレイ表示



(VITCが16、18ラインに挿入されている場合)



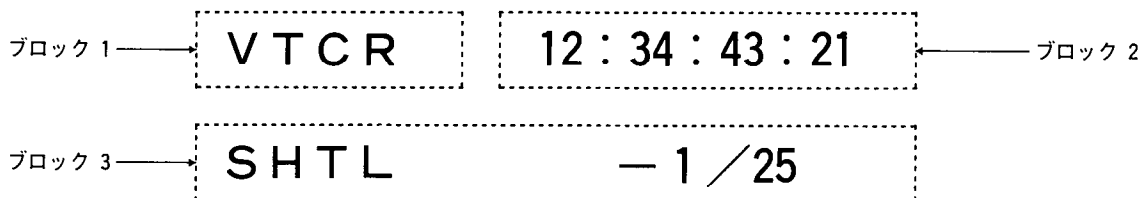
RESET



スーパーインポーズ画面について

フロントポケット部にあるON SCREENスイッチを「ON」にすると、VIDEO MONITOR端子から出力される信号に、以下のようなスーパーインポーズ信号が付加されます。

- ダイヤルメニューモード中はスーパーインポーズ表示はされません。



ブロック 1

タイムコードモードを以下の略称文字で表示します。

CTL : コントロール信号

LUBR : LTCユーザーズビットの再生値

LT CR : LTCタイムコードの再生値

VUBR : VITCユーザーズビットの再生値

VT CR : VITCタイムコードの再生値

ブロック 2

タイムコード値を時：分：秒：フレームで表示します。

12 : 34 : 43 : 21

- ↑
- { : } = ノンドロップフレームモード
 - { . } = ドロップフレームモード
 - { } = タイムコード読み取り不可能

ブロック 3

VTRの動作モードを以下のように表示します。

EJECT(イジェクト)

PLAY(再生)

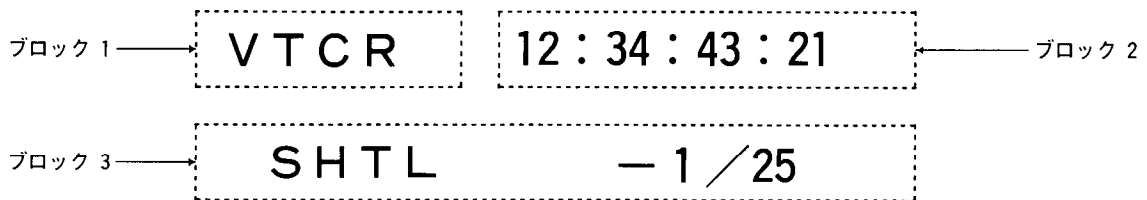
STOP(停止)

FF(早送り)

REW(巻戻し)

STILL(一時停止)

READY-OFF(レディーモード解除)



ブロック 3(つづき)

サーチ速度も表示します。

JOG xxxxx (ジョグ)

SHTL xxxxx (シャトル)

↓

xxxxx部分は、サーチ速度を表示します。

-1/25 ← テープ速度(この場合ノーマル再生に対して1/25の速さで逆方向にサーチ)

↑

* : 正方向 / - : 逆方向

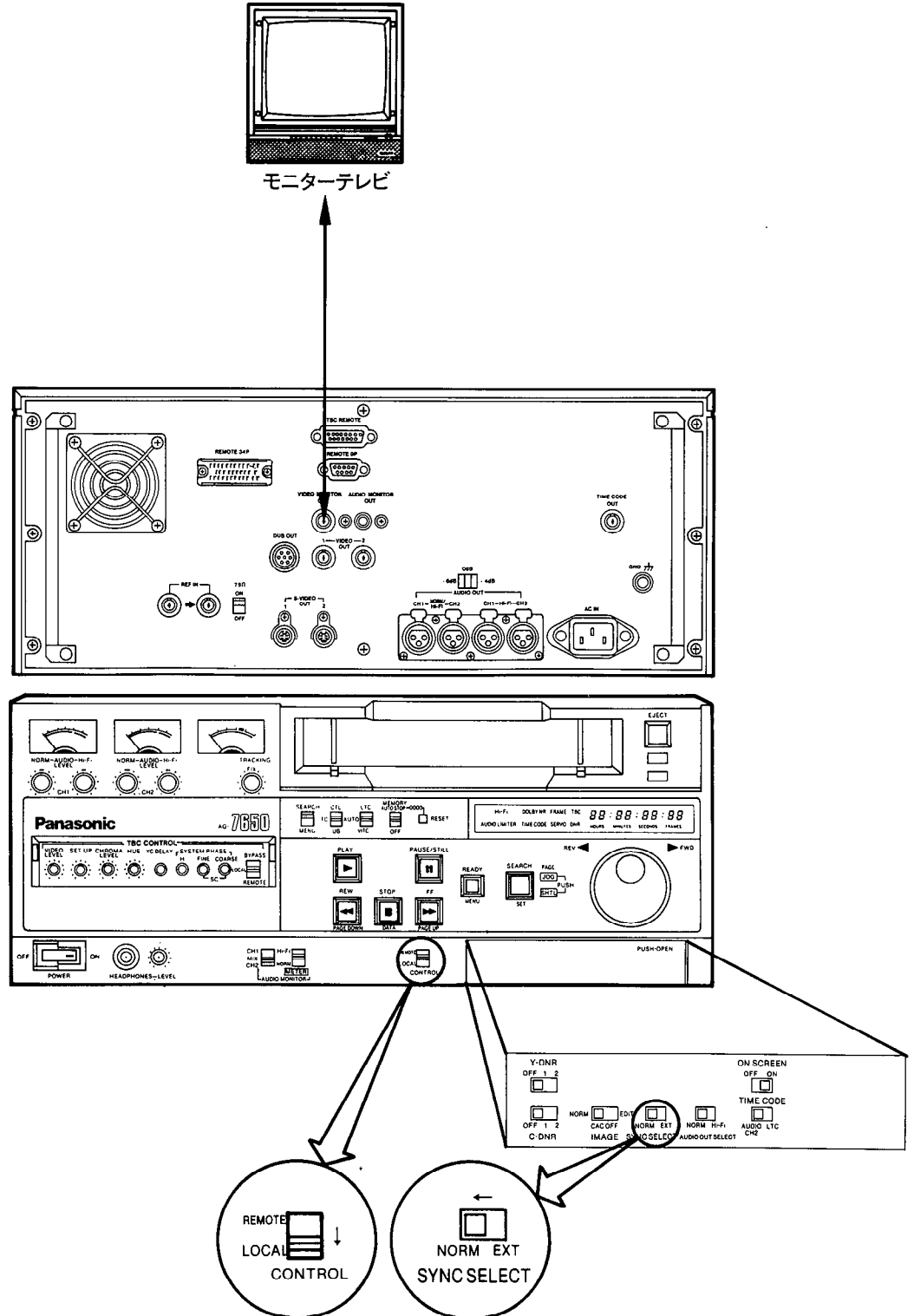
ご注意 ■ ブロック 3の表示は、ダイヤルメニュー機能(項目NO.2004)を「ON」に設定したときだけ表示されます。

参考 ■ ダイヤルメニュー機能(項目NO.2001)で、スーパーインポーズのバックグラウンドの状態を変えることができます。(30ページ参照)

■ ダイヤルメニュー機能(項目NO.2002, 2003)で、スーパーインポーズの表示位置を移動させることができます。(30ページ参照)

基本システムの接続

- 本機1台で再生を行う場合の接続です。
- CONTROLスイッチは「LOCAL」側にしてください。
- AUDIO CH2/LTCスイッチは「AUDIO CH2」側にしてください。
(ただし、LTCのタイムコードがリニアトラックCH2に記録されている場合は、「LTC」側にします。)



ダビング接続

本機を編集時のソース機として使用する場合の接続です。

ダビング接続で画質の良い順番は以下のとおりです。

1. ダビングケーブル(7P)使用
2. S-VIDEOケーブル使用
3. BNCケーブル使用

■CONTROLスイッチは「LOCAL」側にしてください。

■AUDIO CH2/LTCスイッチは「AUDIO CH2」側にしてください。

(LTCのタイムコードをダビングする場合は、「LTC」側にしてください。)

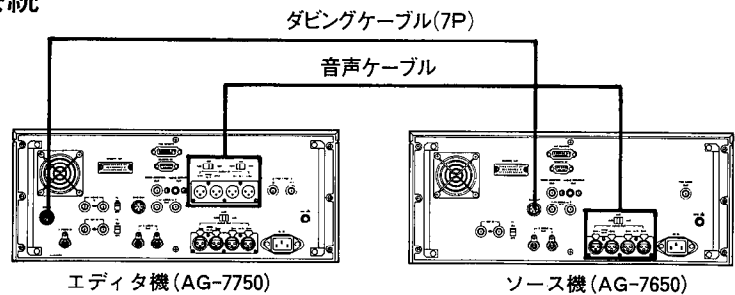
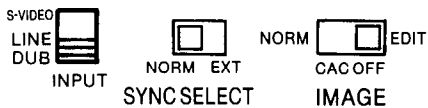
■YCフィルタは通常「ON」にします。(ダイヤルメニュー機能項目NO.1010)

1 ダビングケーブル(7P)使用時の接続

主なスイッチ設定(ソース機側)

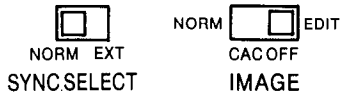


主なスイッチ設定(エディタ機側)

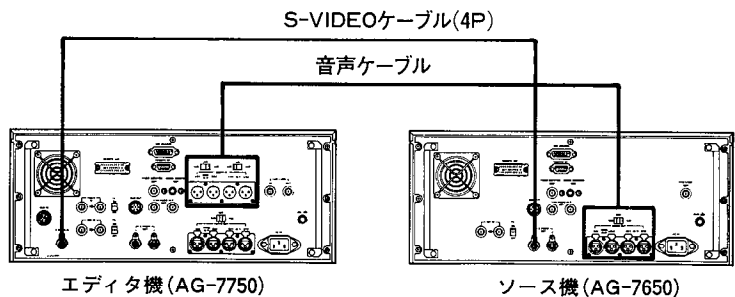
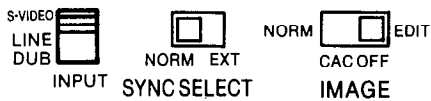


2 S-VIDEOケーブル使用の接続

主なスイッチ設定(ソース機側)

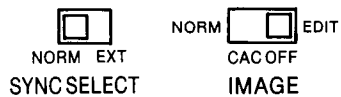


主なスイッチ設定(エディタ機側)

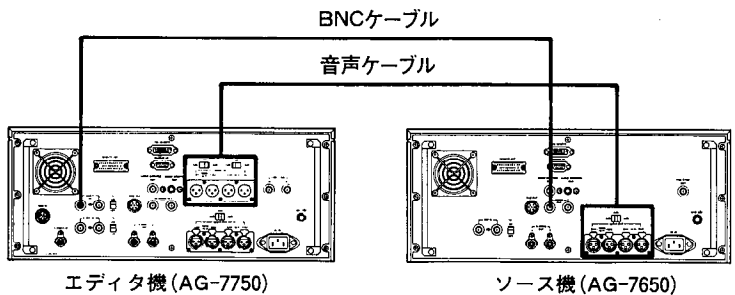
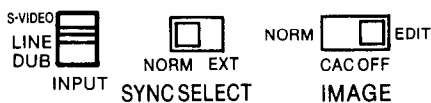


3 BNCケーブル使用時の接続

主なスイッチ設定(ソース機側)



主なスイッチ設定(エディタ機側)

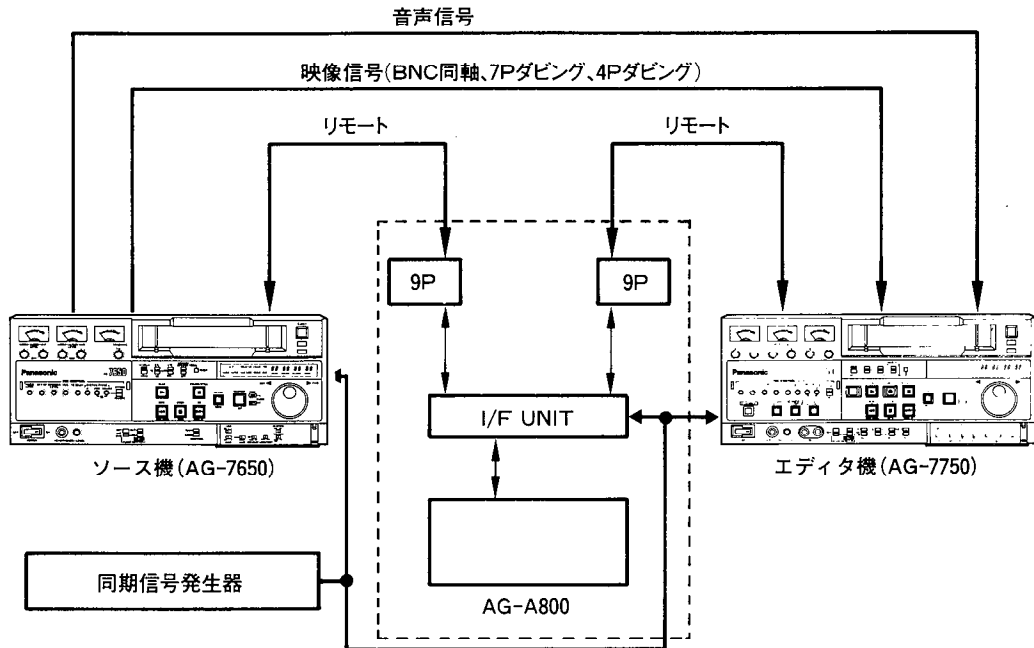


9P 編集コントローラを使ったシステム

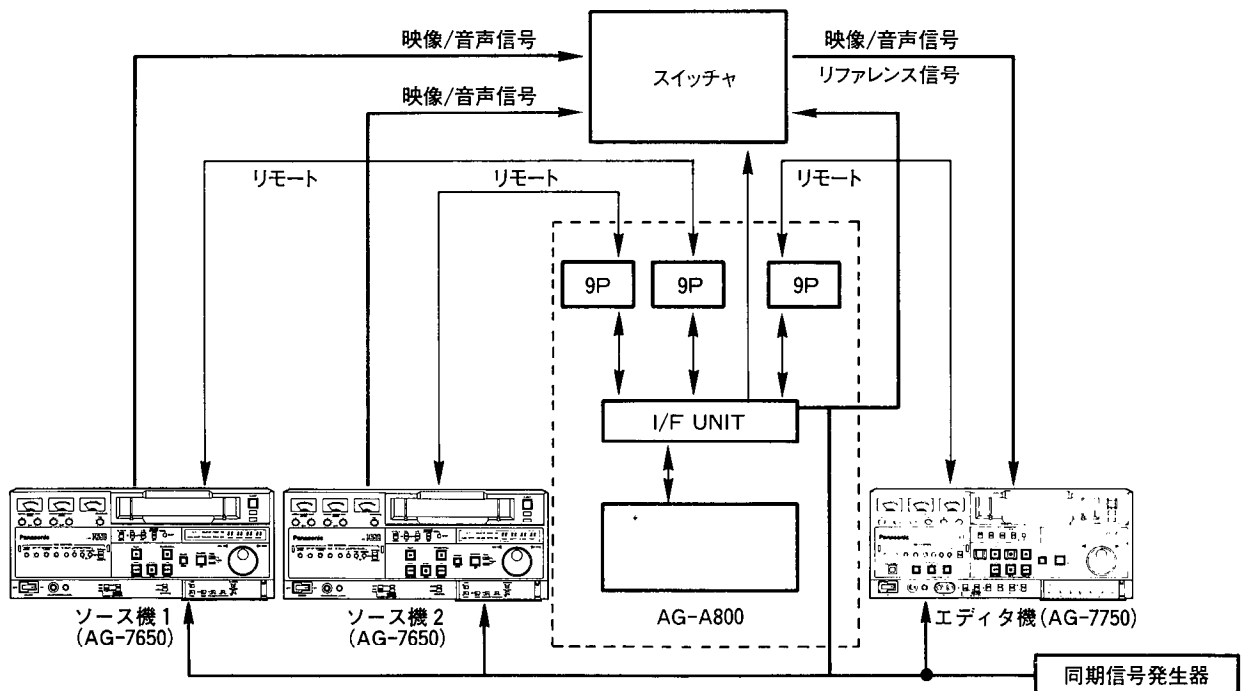
本機にAG-F700(別売品)を装着し、9P編集コントローラ(別売品)を使ってタイムコード編集を行うと、編集誤差のほとんどない精度の高い編集が可能です。

また、本機にはTBCが内蔵されていますので、システム編集時にTBCのめんどろな配線をする必要がありません。

エディタ機とソース機を1台ずつ使用したシステム



エディタ機一台とソース機を2台使用したシステム
(ABロール編集が行えます。)



1 編集コントローラを接続します。

- REMOTE(9ピン)端子の接続をします。
- 音声信号の接続をします。
- 映像信号の接続をします。
- リファレンス信号の接続をします。

2 9P DEVICE TYPE SELECT(項目NO.3002)を設定します。

ダイヤルメニュー機能で設定します。

OTHER TYPEs (セットアップNO.00)：松下製以外のコントローラを使用する場合

S-VHS ID (セットアップNO.01)：松下製のコントローラを使用する場合

3 REMOTE OPERATION(項目NO.3003)を「9P(セットアップNO.00)」に設定します。

ダイヤルメニュー機能で設定します。

4 CONTROLスイッチを「REMOTE」側にします。

5 編集コントローラ側で本機を操作します。

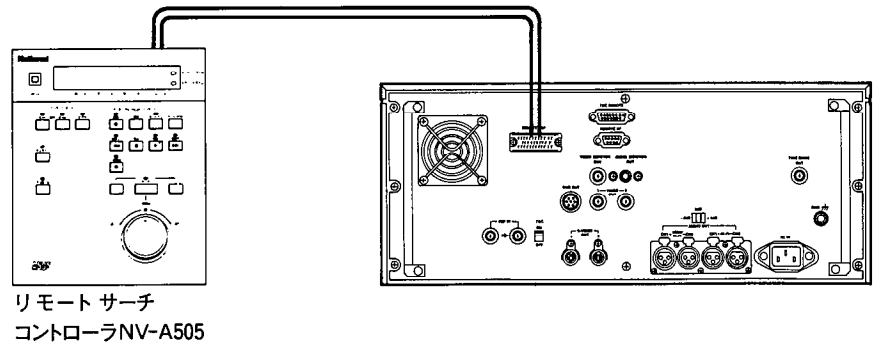
編集コントローラ側の操作説明は、各編集コントローラの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 9P編集コントローラの編集タイミングを8フレームに設定してください。
- 編集コントローラAG-A800を使用のときは、ダイヤルメニュー機能(項目NO.3002)「9P DEVICE TYPE SELECT」を「S-VHS ID」に設定します。
- カラーフレーミング機能のついた編集コントローラを使用する場合は、カラーフレーミングモードの設定をしないでください。
- 9P編集システムでファーストエディット操作を行う場合、ダイヤルメニュー機能(項目NO.1007)ショートFFが「ON」でないと行うことができません。
- 9P編集システムでのインサート編集時の編集チャンネルはタイムコードとオーディオが独立して設定することができますが、本機の場合、リニアトラックCH2をタイムコード(LTC)とノーマルオーディオCH2で共用しているため、ポケット部のAUDIO SELECTスイッチでどちらの信号を編集するかを間違い無く選択してください。
- タイムコード編集を行う場合は、前面ポケット部のタイムコード部のスイッチ設定を「INT」「REGEN」「FREE-RUN」に設定してください。

リモートサーチコントローラを使ったシステム

本機に、リモートサーチコントローラNV-A505(別売品)を接続しますと、離れた場所から本機を操作することができます。



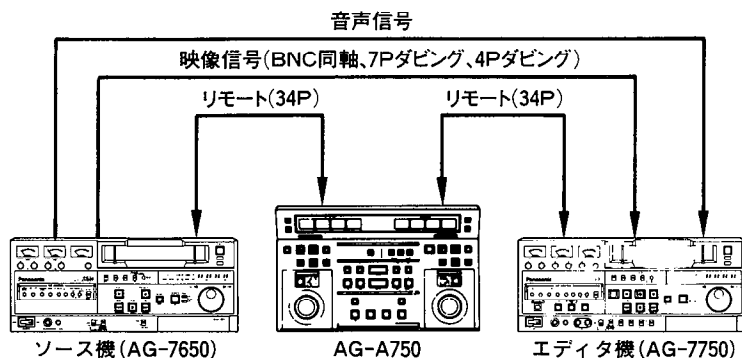
- 1** リモートサーチコントローラNV-A505をREMOTE(34P)端子に接続します。
- 2** REMOTE OPERATION(項目NO.3003)を「34P(セットアップNO.01)」に設定します。
ダイヤルメニュー機能で設定します。
- 3** 34P SHTL MAX SPEED(項目NO.3004)を設定します。
ダイヤルメニュー機能で、使用する編集コントローラによって、操作できるシャトルサーチの最高速度を設定します。
10(セットアップNO.00)：10倍速
20(セットアップNO.01)：20倍速
- 4** 34P CONTROLLER TYPE(項目NO.3005)を設定します。
ダイヤルメニュー機能で、使用する編集コントローラの機種タイプを設定します。
TYPE-1(セットアップNO.00)：AG-A800、AG-A750
TYPE-2(セットアップNO.01)：AG-A650、NV-A500、NV-A505
- 5** CONTROLスイッチを「REMOTE」側にします。
本機の操作ボタンは、(STOP、EJECTボタン)以外は作動しなくなります。
- 6** リモートサーチコントローラNV-A505を操作します。
NV-A505で操作できる内容は以下のとおりです。
 - 再生
 - 早送り・巻戻し・停止・一時停止
 - JOGモードは作動しません。

参考

- ソース機を2台、3台同時に接続するシステムを組むときには、リモートサーチコントローラをインターフェースとして使用することができます。
- リモートコントローラAG-A600も使用することができます。この場合、4の操作で「TYPE-2」を選択してください。

34P 編集コントローラを使ったシステム

本機に、34P編集コントローラ(別売品)を接続しますと、編集コントローラから本機をコントロールし、精度の高い編集を行うことができます。



1 編集コントローラを接続します。

- REMOTE(34ピン)端子の接続をします。
- 音声信号の接続をします。
- 映像信号の接続をします。

2 REMOTE OPERATION(項目NO.3003)を「34P(セットアップNO.01)」に設定します。

ダイヤルメニュー機能で設定します。

3 34P SHTL MAX SPEED(項目NO.3004)を設定します。

ダイヤルメニュー機能で、使用する編集コントローラによって、以下の設定をします。編集コントローラで操作できるシャトルサーチの最高速度を設定します。

- 10(セットアップNO.00)：10倍速
- 20(セットアップNO.01)：20倍速

4 34P CONTROLLER TYPE(項目NO.3005)を設定します。

ダイヤルメニュー機能で、使用する編集コントローラの機種タイプを設定します。

- TYPE-1(セットアップNO.00)：AG-A800、AG-A750
- TYPE-2(セットアップNO.01)：AG-A650、NV-A500、NV-A505

5 CONTROLスイッチを「REMOTE」側にします。

6 編集コントローラ側で本機を操作します。

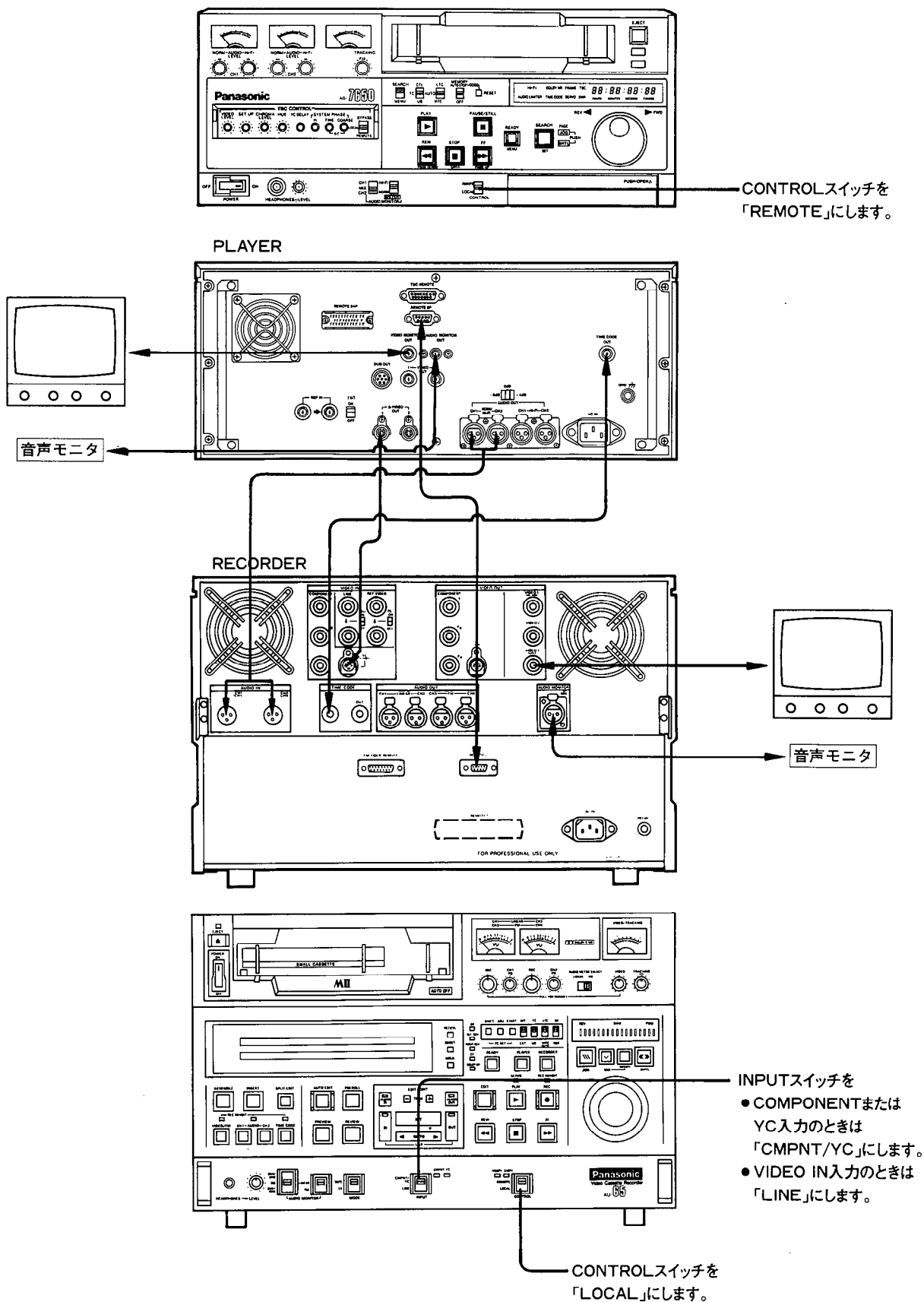
編集コントローラ側の操作説明は、各編集コントローラの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 編集コントローラNV-A500を使用時、プレビュー途中でEDIT STOPボタンを押しても、プレビューが終了しない場合があります。このような場合は、PAUSEボタンを押してください。
- AG-A800を34Pシステムで使用する場合、READY ON/OFF操作でテープが進むことがありますが、編集精度には関係ありません。

業務用 MII 機を使ったシステム

本機は、RS-422Aインターフェースを有していますので、業務用MII機と接続することが可能です。



※上記システムは、業務用MII VTR AU-65を使用したものです。

エラー表示について

カウンタディスプレイにエラーが表示されている場合は、本機になんらかの異常が発生しています。このような場合は、速やかに操作を止め、下記の内容に従って対処くださいますようお願いいたします。

エラー表示	エラー内容	対 処
d	露付き	電源を付けたまま、エラー表示が消えるまでお待ちください。 (下記メモ参照)
E- 0	ファンモータロック	販売店にご連絡ください。
E- 2	エレベータロック	販売店にご連絡ください。
E- 3	ローディングロック	販売店にご連絡ください。
E- 4	シリンダロック	販売店にご連絡ください。
E- 5	リールロック	販売店にご連絡ください。
E- 6	テンション異常	販売店にご連絡ください。
E- 7	ソレノイド切れ	販売店にご連絡ください。

メモ

「露付きが起こるのは」

これは暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴(露)が付くのと同じ原理です。

本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気がたちこもる、湿度の多いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから、急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

万一、異常が生じましたら、直ちに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを持ってコンセントから抜いた後、お求めの販売店にご連絡ください。
そのままご使用になりますと故障の範囲を大きくしたり、思わぬ事故の原因になる恐れがありますからご注意ください。

故障かな?と思う前に…ちょっと!

下記の項目を点検、調整していただき、それでもなお異常があるときは販売店にご相談ください。

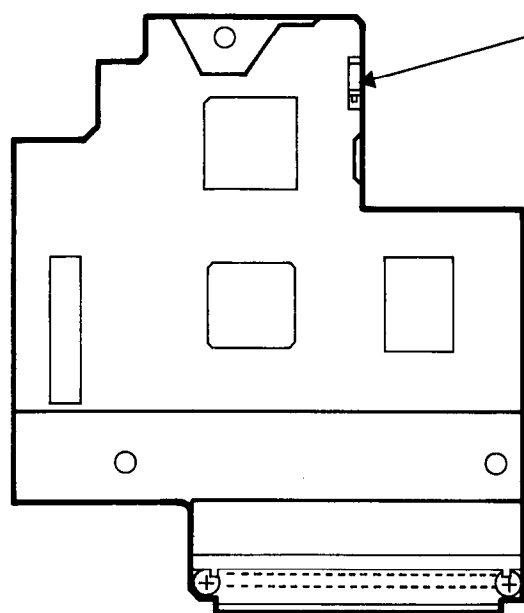
症 状	点 検 ・ 調 整	参 照 ペ ー ジ
電源が入らない。	■電源コードは外れていませんか?	—
操作ボタンを押しても動作しない。	■カウンタディスプレイにエラー表示はでていませんか? ■CONTROLスイッチが「REMOTE」になっていませんか? ■サーチダイヤルモードスイッチが「MENU」になっていませんか?	45 21 25
テープの早送り・巻戻しができない。	■テープの早送り・巻戻しが終わっていませんか? ■MEMORYスイッチが「AUTO STOP」になっていませんか?	— 18
再生がザラザラしている	■IMAGEスイッチが「EDIT」になっていませんか? ■ビデオヘッドが汚れていませんか?	20 54
通常再生時、画像の一部がしま状になっている	■TRACKING調整が合っていますか?	15
再生画に色がつかない	■ダイヤルメニュー機能でカラーモードがB/Wモードになっていませんか?	28
一定の時間間隔をおいて再生画像が乱れる。	■モニタテレビの垂直同期は合っていますか? ■カセットテープは良好ですか?	— —

このたびは、
タイムコードジェネレータ/リーダ基板 AG-F700を
お求めいただきまして
まことにありがとうございました。

本基板を業務用VTRに装着することにより、タイムコードの設定、再生、記録を行うことが可能になります。

操作はすべてVTR側で行いますので、操作についてはVTR側の取扱説明書をご参照ください。

[AG-F700]



■ALL DELスイッチ

以下のような場合に「ON」にします。

- ①VITCの挿入ラインが、再生機側と編集機側で異なる場合
- ②VITCが3つ以上記録されているテープを使用する場合

ご注意

- ALL DELスイッチを「ON」にすると、既に記録されているVITCデータが消去されることがありますので、ご注意ください。
- VITC挿入ラインは再生中にCONTROLスイッチをREMOTEにし、RESETボタンを押すと、モニタに表示されます。(AG-7750の場合)
- TBC ONでご使用になる場合は、VITCの挿入ラインを10H、11Hに設定しないでください。

機能解説

S-VHSについて



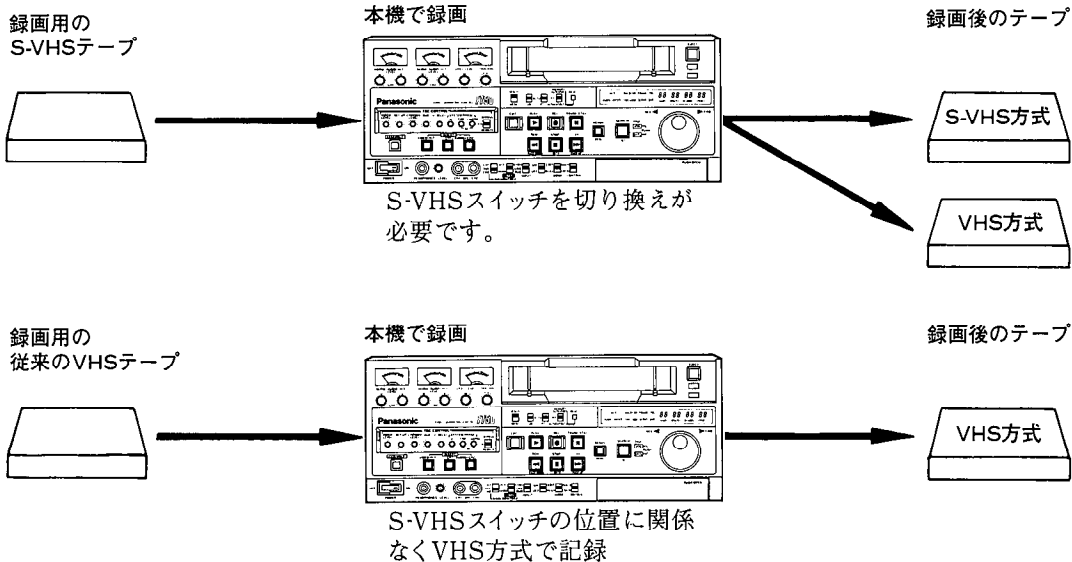
S-VHSビデオ方式とは、全世界に定着したVHSビデオ方式をもとに、さらに高解像度・高画質化技術を駆使して新開発された映像情報化時代のビデオ方式です。

新開発の高性能S-VHSビデオカセットと組み合わせて使用することによって、画期的な画質向上が可能となり、水平解像度400本以上および鮮明でリアルな高画質を実現しました。

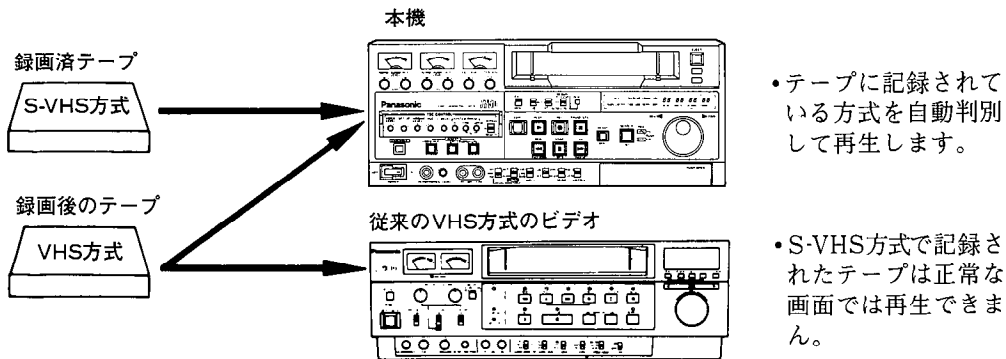
S-VHS マークの付いたビデオカセットを使って高画質記録・再生ができるとともに
VHS マークに付いたビデオカセットでも従来どおり記録・再生が楽しめます。

ビデオテープの互換性について

録画時



再生時



機能解説 (つづき)

S-VHS方式とVHS方式の比較

従来のVHS方式に比べて下図のように、

■周波数編移：3.4MHz～4.4MHz



5.4MHz～7MHz

■FM輝度帯域：約3.2MHz～約5.5MHz

■解像度：約240本→400本以上

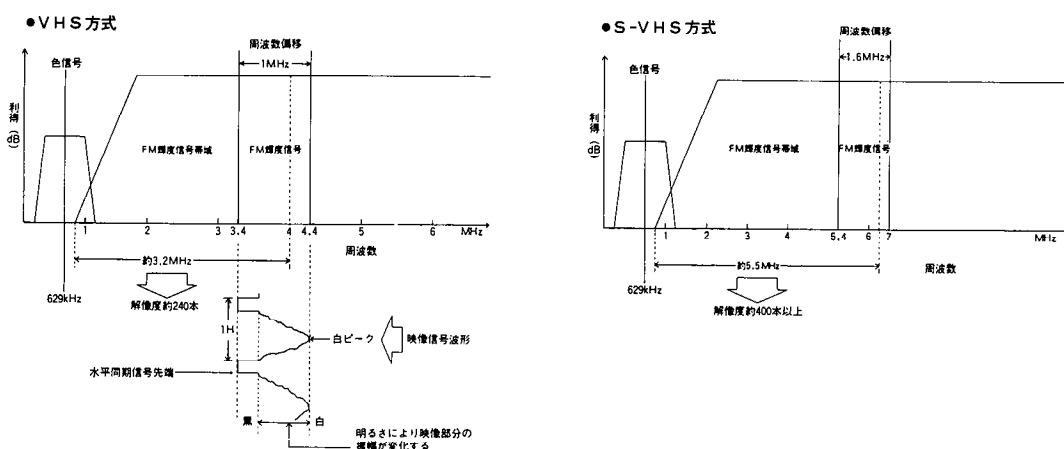
と、大幅に向上しています。

しかし、上記のように帯域を広げると、S/Nがそれに伴って劣化します。

そこで、S-VHS方式ではその劣化を防ぐため以下のように対応しています。

■従来のMAIN Emphasis回路の前段でSUB Emphasis回路を導入

■S-VHSに最適な新開発磁性体のS-VHSテープを採用



■本機のS-VHS方式で録画したテープは、VHS方式専用のビデオでは再生できません。

しかし、録音方式は従来と互換性があるため、従来のビデオでも再生することができます。また、従来のビデオで録音されたテープも再生することができます。

■他のVHSタイプのビデオレコーダで録画したカセットテープを、再生するときは、標準モードで録画されたテープをご使用ください。また、この場合、静止画・スローモーション・早送り再生および巻戻し再生中にノイズが大きくなる場合があります。

■大切な録画(結婚式など)の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることをご確認ください。

■ビデオカメラ、ビデオおよびテープの使用時、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

■HQマークの付いたビデオには、VHS高画質技術が採用されています。

■HQマークの付いたビデオで録画されたテープを本機で再生しますと高品位の画質が得られます。なお、従来方式のVHSビデオとは互換性があります。

ロジカルコムフィルタ

輝度信号処理回路および色信号処理回路にロジカルコムフィルタを採用することにより、従来にあった輝度信号の1Hだれ、色信号の1H色だれ(輝度信号に対して)のないクリアな画質を得ることができます。

CAC(クロマアパーチャコンペンセータ)回路

色信号処理フィルタの帯域の拡大およびCAC回路を採用することにより、色信号のにじみを低減したクリアな画質を得ることができます。

外部同期型TBC(タイムベースコレクタ)内蔵

13.5MHz、8ビットの本格的なデジタル技術で映像信号の時間軸誤差を正しく補正し、安定した画像を再生するデジタルTBCを採用することにより、テープ走行によるジッター(画面のゆれ=輝度信号のゆれや色信号のゆれ)、スキュー歪み(画面の上部が水平方向に曲がる現象)をなくすことができます。また、フィードフォワード制御方式の採用により高速制御が可能となり、回転ヘッドのインパクトによるタタキ(画面の一部がゆがむ現象)を低減します。さらに、バースト信号および同期信号のすげ替えにより、安定した映像信号をつくりダビングなどによる同期信号劣化を防いだり、外部よりREF(リファレンス)信号を入力することにより、内部TBCを同期信号および色同期信号にロックさせることができ、ABロール編集をはじめとする複数の同期運転などのシステムを展開させることができます。

DNR(デジタルノイズレデューサ)

本機のデジタル部には、TBCとは別にDNR(デジタルノイズレデューサ)部を持っていますので、1フィールドのデジタルメモリ回路の採用により、フィールド相関のとれたノイズ除去を行うことができます。

本機のDNRは、輝度信号用と色信号用を両方持っているので、ソーステープの画質レベルに応じてそれぞれ独立して動作させることができ、S/Nの劣化したソフトテープの再生などには特に効果的です。

タイムコード編集

本機に、別売品のタイムコードボードを搭載することにより、さまざまなタイムコード編集が可能になります。

■リニアオーディオCH2トラックを利用したLTC(Longitudinal Time Code)と、VITC(Vertical Interval Time Code)の記録再生ができ、9ピンシステムの高度で精度の良い編集を行うことができます。

また、LTCだけの記録やVITCだけの記録が行えますので、リニアオーディオCH2トラックをノーマル音声用として使用しても、VITCの記録は可能です。

■UB(ユーザズビット)の設定が可能になり、テープの固有番号、年月日、番組自動送出に必要な情報などを、自由に設定することができます。

■ドロップ、ノンドロップの設定ができ、計算し易いノンドロップフレーム設定ができます。

■編集中に、記録開始点前後でのタイムコードの連続性を保つ、REGEN(リジェネ)機能を有しています。

■静止画~10倍速までのVITCを読み取ることができます。

■VITCを単独に使用したタイムコード編集を行いますと、リニアオーディオCH2トラックはオーディオ用として使用することができます。

■VITC編集を行うことにより、編集精度±0を確保でき、編集のIN/OUT点のつなぎのズレをなくすことが可能です。

機能解説 (つづき)

XLR端子の採用

オーディオの入出力端子にXLR端子を使用することにより、ノイズに対して有利になっています。

また、レベル設定を+4 dBs/0 dBs/-6 dBsに、入出力独立して設定することができます。(入力インピーダンスも、内部スイッチによって600Ω / ハイインピーダンスに切り替えることができます。詳しくは販売店にご相談ください。)

AIサーボの採用

AIサーボ(多重周期学習サーボ)システムにより、大径キャプスタン(軸径が従来の約2.6倍の約9mm)を採用し、1/25~32倍速サーチを行うことができます。

編集点へのアクセス時間が短縮されました。

AIサーボは、大径キャプスタンであってもデジタル技術を駆使して、モータの回転速度変動の発生状況から時間的な発生パターンを逐次学習し、モータを制御することで従来機に比べWOWが低減されています。

また、JOGモードでは、静止画~1/25倍速のスロー再生、正逆の1倍速までの様々な速度の再生ができます。

ダイヤルメニュー機能

スチルタイムセットやスーパーインポーズの表示位置など、その他各種拡張機能をサーチダイヤル操作によって、簡単に設定することができます。

また、セットアップメニュー画面は、モニタテレビに表示することができますので、オンスクリーン(画面上)で内容を確認しながら設定することができます。

高速FF/REW

NV-120T(120分テープ)を2分以内でFF(早送り)、REW(巻戻し)することができます。

フルローディング機構

本機は、フルローディング機構(停止中に回転シリンダーにテープを巻付ける構造)を採用しているため、停止から再生画を送出するまでに1秒以内に行うことができます。

低ジッター技術

ジッターは、主にメカニズム系の運動やテープ走行系の揺れなどによって発生するもので、実際の画面上では止まっているものが細かく揺れたり、色むらになって現れ、画質の基本的な部分をそこねてしまいます。本機では以下の技術を導入し、ジッターを軽減しています。

- 回路系の制動誤差により生じる低域ジッターを低減する16bitデジタルサーボの採用
- ポストの偏心により発生する低域ジッターを改善するP2、P3のポストのベアリング対応
- ヘッドたたきによって生じるテープ振動を軽減し、騒音と画面の曲がり改善するため、ヘッドシリンダーにテープが接触する始端と終端部に、それぞれツインプロジェクション(隆起)を設置
- 供給側リールからシリンダーまでのテープ振動を吸収し、中域ジッターを低減する真鍮製で大型のインピーダンスローラを採用しました。

オートクリーニング機構

ローディング動作のたびにヘッドクリーニングを自動的に行い、クリーニング作業の省力化を図りました。

フレーミングサーボの搭載

再生信号のフレーム.Hと記録信号.Hとを同位相に合わせるフレーミングサーボの採用により、編集開始点と終了点でのフレームの乱れを生じることなくきれいな編集が行えます。

高精度オーディオ編集

ビデオ信号の編集タイミングと±1フレームの編集精度を確保しました。編集点での口開き、オーバーラップは1フレーム以内の精度の高いタイミングを確保しています。

高画質技術

ディテールエンハンサ回路を搭載

VHSモードにおいて水面のさざ波や女性の流れるようなロングヘアーのような細かい模様の画面では、ベタついた画像になりがちです。そこでVHSモードでは、ディテールエンハンサ回路の搭載によって、一定範囲の周波数信号を強調して記録(周波数1.5MHz以上、映像レベル10(IRE)以下で約4dB強調)することにより、ベタつきを抑え、細部にわたってくっきりした優れた画像を再現することができます。

ジョグ・シャトルサーチ

■ダブルDDリールモータ搭載

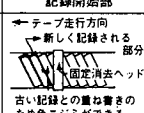
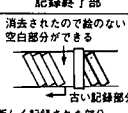
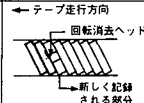

正逆方向のテープ走行がスムーズになり速応性の良いメカニズムを実現しました。

■マイコン制御の可変速再生

シャトルダイヤルでは回転角度、ジョグダイヤルでは回転方向とスピードに応じた可変速再生ができ、編集点を探す際のフレーム合わせに効果を発揮します。

フライングイレース(回転消去)ヘッド

このヘッドは、回転するヘッドシリンダ上で消去ヘッドが記録ヘッドに先行する形で取り付けられています。つまり記録ヘッドがこれから録画するトラックだけをこの消去ヘッドで消すためノイズや消し過ぎが発生せず、色縞ビートを完全に追放したきれいな編集が可能です。また、各回転ヘッドは専用マイコンで制御を行い、編集時の精度も向上させています。

消去方式	消去パターン	
	記録開始部	記録終了部
固定消去ヘッドによるフルイレース	 ←テープ走行方向 ←新しく記録される部分 固定消去ヘッド 古い記録との重ね書きのため色ノジミができる	 消去されたので検のない空白部分ができる ←古い記録部分 ←新しく記録された部分
回転消去ヘッドによるフライングイレース	 ←テープ走行方向 回転消去ヘッド ←新しく記録される部分	 ←古い記録部分 ←新しく記録された部分 絵がきれいにつながる

9ピンリモートコントロールの搭載

RS-422Aリモートコントロールシステムを搭載により、別売品の編集コントローラAG-A800とシステムを組むことができ、高度な自動編集を行うことができます。

機能解説 (つづき)

Hi-Fiシステム

本機は、次の二つの方法で音声記録できます。

Hi-Fiサウンド録音

音声専用回転ヘッドによるFM録音方式を使い、優れたHi-Fiサウンド音声で録音や再生ができます。

ノーマル音声

従来のビデオと同じ録音方式です。

■従来の録音方式との互換性について

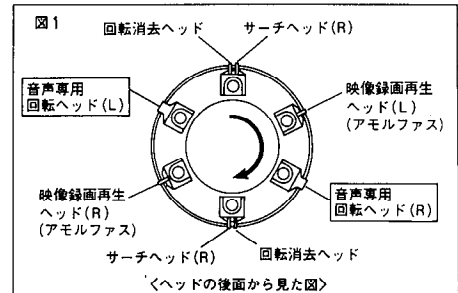
従来どおりの録音(ノーマル)も同時に行えますので、従来のビデオでも再生可能です。また、従来の方式で記録されたテープの再生も可能です。

以下に、優れた音質を創るHi-Fi方式の特長を説明します。

1) 独立した音声専用ヘッドを回転シリンダに搭載

従来、固定ヘッドで記録していたビデオの音声を、回転シリンダに搭載した音声ヘッドで記録します。映像は、専用の映像ヘッドで音声を重ねて記録する全く新しい方式です。

図①は回転シリンダに搭載した音声専用回転ヘッドを含むヘッドの配列をあらわしています。

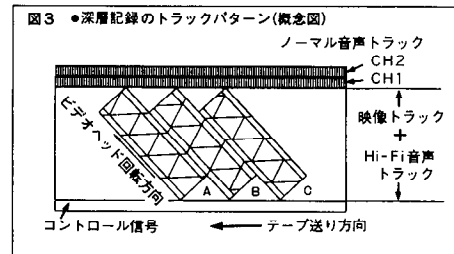
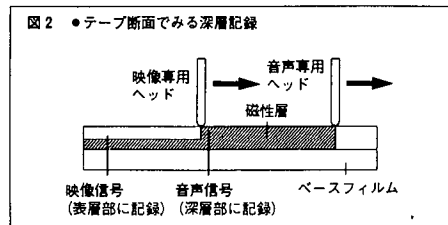


2) 独立した音声専用ヘッドを回転シリンダに搭載

新開発のハイファイ音声専用ICにより、入力信号を劣化させることなく最適レベルで信号処理を行い、従来は80dBであったダイナミックレンジを90dBと飛躍的に迫力感を向上させました。

3) 映像信号と干渉しあわない音声深層記録

音声専用ヘッドは、周波数帯域の広いFMに変調した信号を、テープ深層部に記録します。その上に、映像ヘッドがアジマス角度をまったく変えて映像を記録します。そのため、記録位置は同じでも互いに信号は干渉しあわず、音声も映像も鮮明に記録できる独自の方式です。(図②、③)



4) スイッチングノイズ低減回路の搭載

音声回路の心臓部であるノイズリダクション部に電子スイッチング回路とアクティブフィルタを内蔵させると共に、さらに音声用コンデンサや低雑音抵抗をレベルセンサ部に採用しました。これにより、音声ヘッド(Hi-Fiヘッド)切り替え時に発生するノイズを大幅に低減することはでき、リニアリティーに優れたピュアで透明感のあるクリアなハイファイサウンドを実現しました。

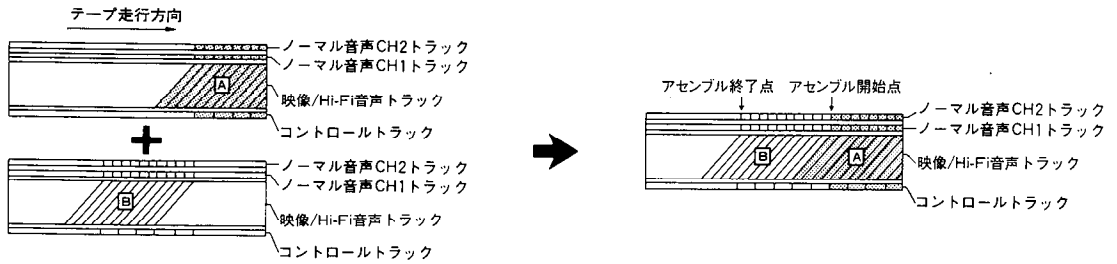
アSEMBル編集について

あらかじめ録画されたテープの途中から新しいプログラムを継ぎながら録画することをアSEMBル編集といい、下図のように録画されたプログラム(A)の後に新しいプログラム(B)を継ぐことができます。

アSEMBル編集は、映像/Hi-Fi音声、ノーマル音声CH1、ノーマル音声CH2、コントロール信号を同時に編集します。

■Hi-Fi音声の記録は、ポケット部のHi-Fi RECスイッチでON/OFFできます。

■Hi-Fi音声記録時の入力端子の切り替えは、ダイヤルメニューの「HI-FI REC SELECT」(項目NO.1013)で行えます。



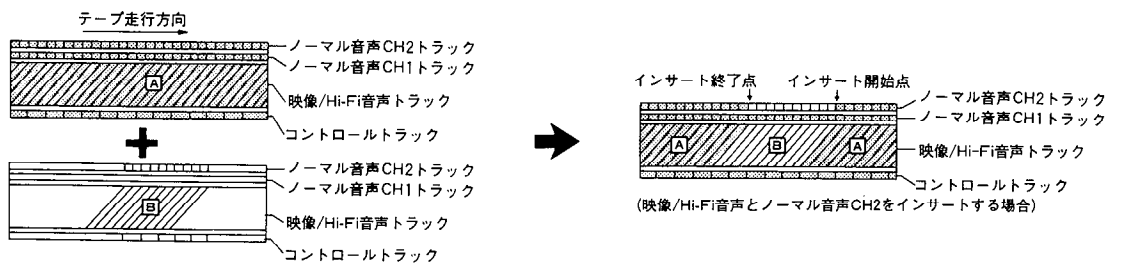
インサート編集について

あらかじめ録画されたテープの途中から新しいプログラムを挿入することをインサート編集といい、下図のように録画されたプログラム(A)の間に新しいプログラム(B)を挿入することができます。

インサート編集は、映像/Hi-Fi音声、ノーマル音声CH1、ノーマル音声CH2を、それぞれのボタンで選択して編集することができます。

■Hi-Fi音声の記録は、ポケット部のHi-Fi RECスイッチでON/OFFできます。

■Hi-Fi音声記録時の入力端子の切り替えは、ダイヤルメニューの「HI-FI REC SELECT」(項目NO.1013)で行えます。



機能解説 (つづき)

サーボリファレンスについて AG-7750

本機はサーボ用のリファレンス信号として、INPUTスイッチで選択した入力ビデオ信号、REF IN端子より入力したREF VIDEO信号、または内部同期信号(INT)のいずれかを自動的に選択します。

本機のモードとSYNC SELECTスイッチの関係は以下の通りです。

■VTRのモードがPLAYで、かつTBCがONの場合

SYNC SELECT スイッチの位置	入力信号の状態		リファレンス信号
	VIDEO IN信号	REF IN信号	
NORM	○	○	REF IN信号
	○	×	内部同期信号
	×	○	REF IN信号
	×	×	内部同期信号
EXT	○	○	REF IN信号
	○	×	内部同期信号
	×	○	REF IN信号
	×	×	内部同期信号

■その他の場合

SYNC SELECT スイッチの位置	入力信号の状態		リファレンス信号
	VIDEO IN信号	REF IN信号	
NORM	○	○	VIDEO IN信号
	○	×	VIDEO IN信号
	×	○	REF IN信号
	×	×	内部同期信号
EXT	○	○	REF IN信号
	○	×	内部同期信号
	×	○	REF IN信号
	×	×	内部同期信号

○は信号が入力されている。 ×は信号が入力されていない。

サーボリファレンスについて AG-7650

本機はサーボ用のリファレンス信号として、REF IN端子より入力したREF VIDEO信号、または内部同期信号 (INT) のいずれかを自動的に選択します。

本機のモードとSYNC SELECTスイッチの関係は以下の通りです。

■TBCがONの場合

SYNC SELECT スイッチの位置	入力信号の状態	リファレンス信号
	REF IN信号	
NORM	○	REF IN信号
	×	内部同期信号
EXT	○	REF IN信号
	×	内部同期信号

■TBCがOFFの場合

SYNC SELECT スイッチの位置	入力信号の状態	リファレンス信号
	REF IN信号	
NORM	○	内部同期信号
	×	内部同期信号
EXT	○	REF IN信号
	×	内部同期信号

○は信号が入力されている。 ×は信号が入力されていない。

コネクタの信号について

DUB IN/OUT端子

ピン番号	信号内容
1	ダビングY入/出力
2	GND
3	ヘッドスイッチングパルス
4	GND
5	ダビングC入/出力
6	GND
7	ダビングコントロールL(接続時L)

REMOTE 9P端子

ピン番号	信号内容
1	GND
2	TRANSMIT A
3	RECEIVE B
4	RECEIVE COMMON
5	SPARE
6	TRANSMIT COMMON
7	TRANSMIT B
8	RECEIVE A
9	GND

S-VIDEO IN/OUT端子(4P)

ピン番号	信号内容
1	Y GND
2	C GND
3	Y信号
4	C信号

REMOTE 34P端子

ピン番号	信号内容
1	REC SWITCH* ¹
2	PLAY SWITCH* ¹
3	FF SWITCH* ¹
4	REW SWITCH* ¹
5	STOP SWITCH* ¹
6	_____
7	PAUSE SWITCH* ¹
8	CASSETTE IN* ²
9	CUT IN SWITCH* ¹
10	_____
11	SERVO LOCK* ²
12	GND
13	STEP SWITCH* ¹
14	REVERSE COUNT* ²
15	CUT OUT SWITCH* ¹
16	EDIT SWITCH* ¹
17	REVERSE IN* ²
18	CONTROL PULSE OUT
19	REMOTE 19* ¹
20	START MARK
21	EJECT SWITCH* ¹
22	INSERT CH 1* ¹
23	REC HOLD* ²
24	PLAY HOLD* ²
25	FF HOLD* ²
26	REW HOLD* ²
27	INSERT CH 2* ¹
28	_____
29	PAUSE HOLD* ²
30	REMOTE 30* ¹
31	CUT IN HOLD* ²
32	INSERT VIDEO* ¹
33	REMOTE 33* ¹
34	+12V

AUDIO IN/OUT端子(XLR)

ピン番号	信号内容
1	GND
2	HOT
3	COLD

TBC REMOTE端子(15P)

ピン番号	信号内容
1	_____
2	SET UP
3	C LEVEL
4	GND
5	+12V
6	SYSTEM HΦ
7	SYS. SC COARSE(2)
8	-12V
9	HUE
10	VIDEO LEVEL
11	RET GND
12	_____
13	_____
14	SYS. SC FINE
15	SYS. SC COARSE(1)

*1 接地入力です。

*2 オープンコレクタの接地出力です。

付属品と別売品のご紹介

付属品

本機に以下の付属品が同梱されていることを確認してください。

- S-VIDEOケーブル(4P)1.5m品番VFA0055
- 電源コード.....品番VJA0252-1
- TBC部保護カバー.....品番VGF0381-1

別売品

- S-VIDEOケーブル(4P)品番AG-C71(5m)
品番VW-CV3(3m)
品番VW-CV2(2m)
品番VW-CV1(1.5m)
- 編集コントローラ品番AG-A800
品番AG-A750
- リモートサーチコントローラ品番NV-A505
- リモートコントローラ品番AG-A600
- ラックマウントアダプタ品番AG-M750
- ダビングケーブル(7P)品番AG-C65
- タイムコードジェネレータ/リーダー基板.....品番AG-F700

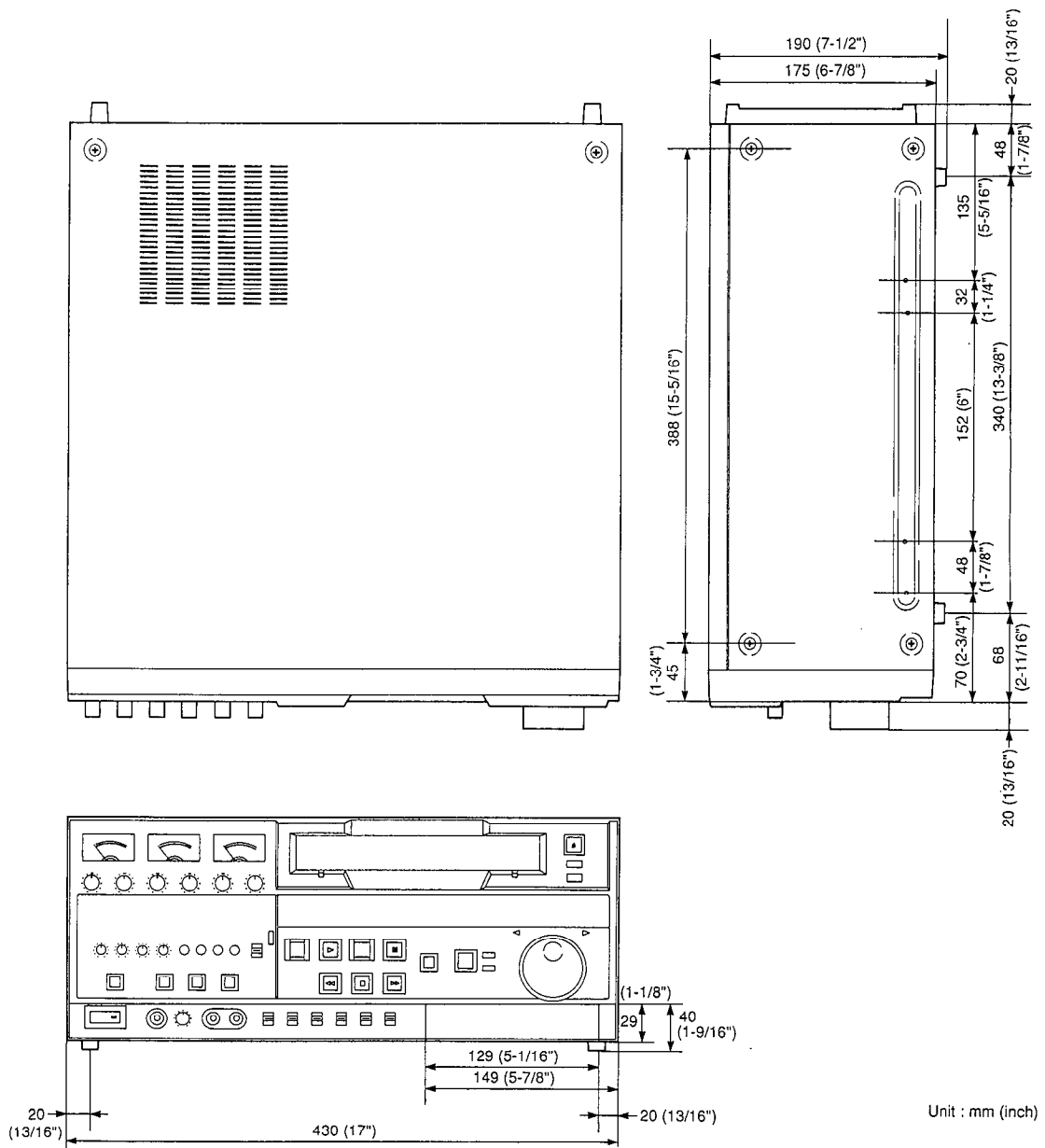
カセットテープについて

- S-VHSビデオテープ.....品番NV-ST120(2時間)
品番NV-ST60(1時間)
品番NV-ST30(30分間)

■ VHSビデオテープ

ビデオテープ品番			記録・再生時間
標準テープ	スーパーHG	スーパーHG Hi-Fi	標準モード
NV-T160	————	————	2時間40分
NV-T120	NV-T120HG	NV-T120HF	2時間
NV-T90	————	————	1時間30分
NV-T60	NV-T60HG	NV-T60HF	1時間
NV-T40	NV-T40HG	————	40分
NV-T30	NV-T30HG	————	30分
NV-T20	NV-T20HG	————	20分

寸法図



Technical Information

① フルローディング方式について

◇ AG-7750/7650 はフルローディング方式を採用しています。従って STOP モードでも従来の STILL モードと同じ状態となっていますので下記の事項について注意してください。

① SETUP-MENU No. 1001、1002 について (STILL TIME SELECT、TAPE PROTECTION)

• STOP モード時でもローディングしている為、テープ保護がはたらきますので、上記 MENU 設定に注意してください。

② SETUP-MENU No. 1003 について (READY OFF MODE SELECT)

• 34P CONTROL 時はコマンドがないため READY OFF モードになりません STOP モードのみとなります。

③ AG-7650 では STOP モード時そのトラックの映像を常に出画します。(AG-7750 は MODE SW にて EE/PB 画の切換あり)

② 安全保護機能

◇ デッキに何らかの異常が発生した場合エラーメッセージにてカウンタディスプレイに内容を表示します。

エラー表示	エラー内容	備 考
d	結 露	1. テープが入っている場合…自動的に中間 EJECT モードになります。 2. テープが入っていない場合…結露が解除されるまでテープの挿入はできません。 3. シリンダが回転します。 4. ※結露状態を約 40 分間継続します。
E-0	ファンモータロック	• 冷却用ファンモータがロックした場合。 • EJECT 後操作を受け付けません。
E-2	エレベータロック	• テープ出し入れが出来ないことの保護
E-3	ローディングロック	• ローディング・アンローディング中のロックによる異常検出
E-4	シリンダロック	• シリンダが回転するモードでのシリンダモータ回転検出
E-5	リールロック	• テープ走行時におけるテープの巻取回転検出。テープ走行速度により保護動作時間は異なる。
E-6	テンション異常	• テープテンション値に異常があった場合の検出。PLAY、REC PLAY、EDIT PLAY にて検出
E-7	ソレノイド切れ	• リール・ピンチソレノイドが切れた場合の保護

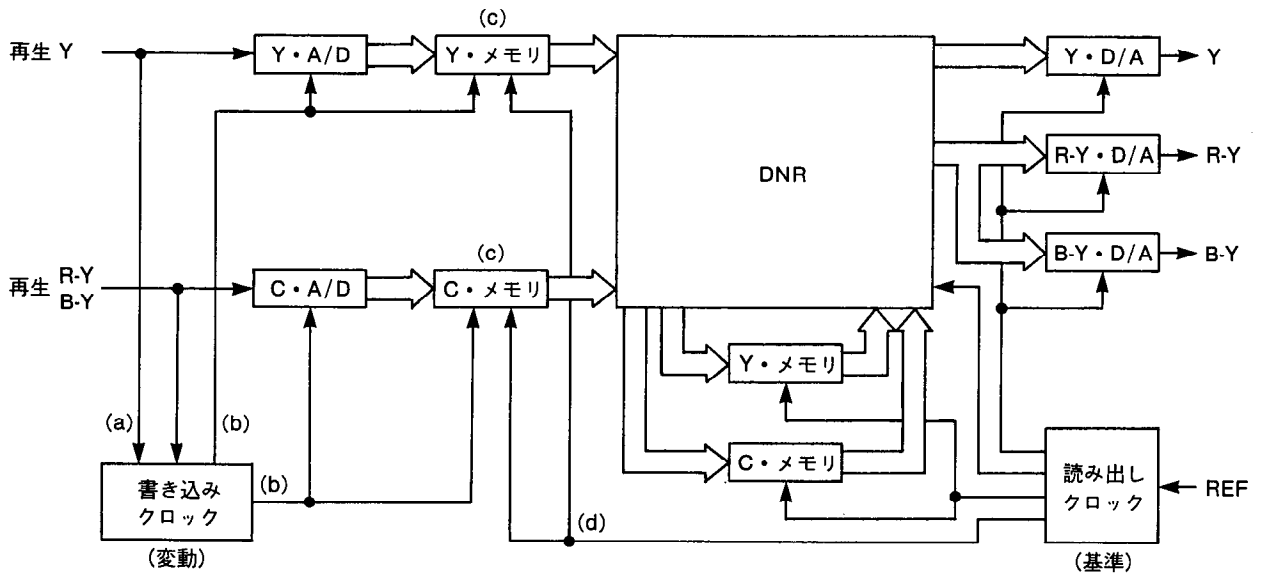
※ 強制解除させたい場合は露が乾いたのを確認した後電源 OFF にて解除させてください。

3 TBC 動作説明

◇ AG-7750/7650 は TBC を内蔵しており、ジッターやスキュー歪を補正します。

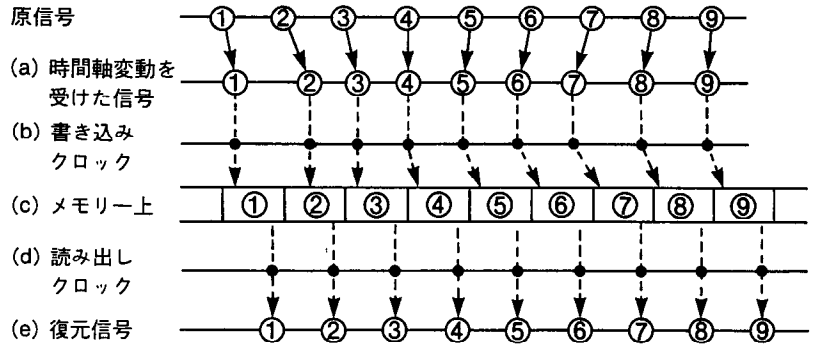
○ 概要：VTR の再生時においてヘッドの回転ムラ、テープ走行系のムラ、その他メカニズムの振動等により時間軸に乱れが生じます。この時間軸の乱れ(ジッタ)を補正するのが TBC (TIME BASE CORRECTOR) です。

○ TBC ブロック



1. TBC 動作

時間軸変動成分を受けた再生 Y、R-Y、B-Y をそれぞれその時間軸変動成分に追随した書き込みクロックでメモリに書き込み、安定した基準の読み出しクロックで読み出すことにより安定した信号を得る。



2. DNR (デジタルノイズリデューサ) → TBC ON 時のみ有効

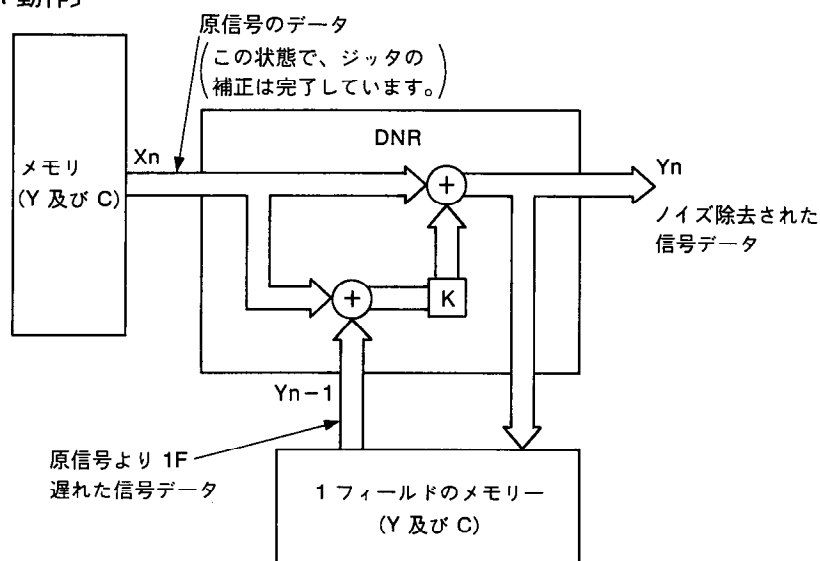
Y-DNR と C-DNR がありそれぞれの構成部にてフィールド相関を利用し S/N 改善、フリッカの低減を行っています。

1 フィールド前の信号と現在の信号の同じアドレス部において相関を利用し、回路を巡回させることによってノイズの除去を行う。Y 及び C にてそれぞれレベル 1、2 がありますが、レベル 2 の方がフィードバック量が多くノイズ除去による S/N 改善率は大きくなります。

(ただし、このフィードバック量を増す程、解像度は減少します。)

∴ DNR は編集時は OFF にし、モニタで再生画を見るときにだけ ON にすることをお勧めします。(解像度の減少を防止する為)

〔DNR 動作〕



* 参考

信号に相関性がないときは DNR の動作は行われません。(原信号のデータがそのまま出力されます。) 又、DNR 1 と DNR 2 の違いは K の値です。(DNR 2 の方が大きい)

Y	$Y_n = K(Y_{n-1} + X_n) + X_n$
C	$Y_n = K(Y_{n-1} - X_n) + X_n$


4 AG-7750 の AUDIO REC について

- ◇ AG-7750 は音声記録の選択が従来と異なり前面から行える様になっています。
 入力によりどの信号が実際記録されるのかは下表を参照してください。

表の見方

- ポケット SW 部の Hi-Fi REC は「ON」とします。
- MENU No. 1013 (Hi-Fi REC SELECT) の選択別となっています。
- 「○」→ 記録される。
- 「×」→ 記録されない。

(例)  部の見方

 部では NORMAL CH1 に入力された音声信号 (縦軸) は NORMAL CH1 音声信号および Hi-Fi CH1 音声信号として記録されます。(横軸)

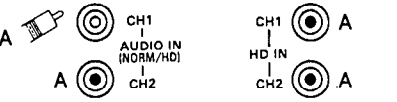
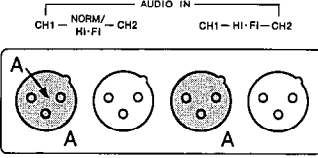
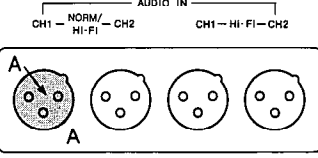
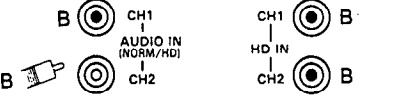
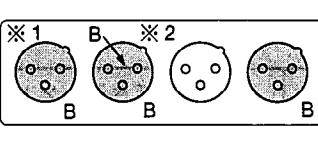
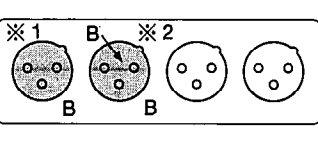
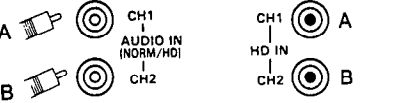
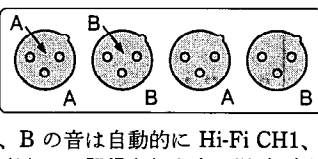
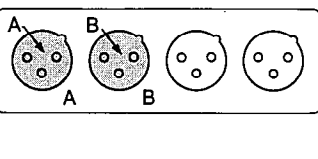
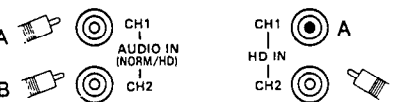
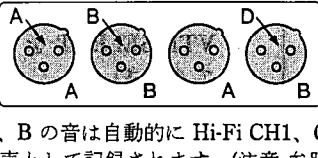
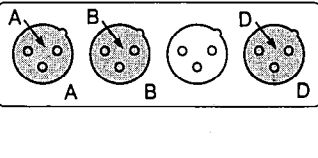
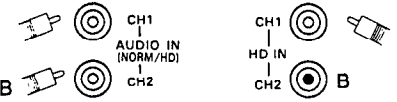
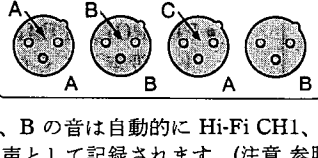
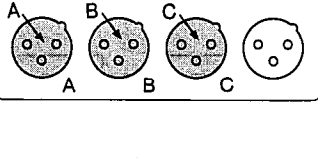
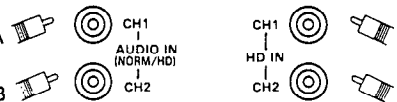
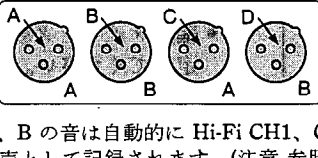
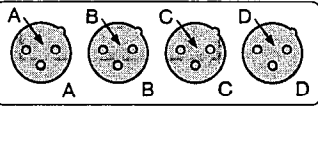
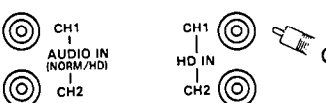
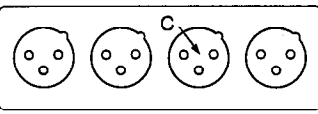
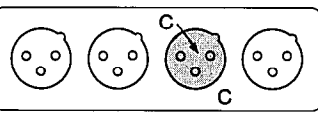
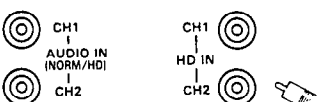
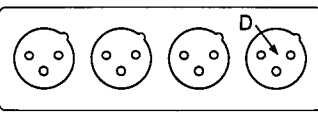
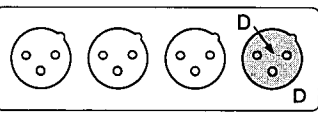
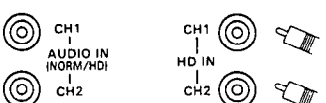
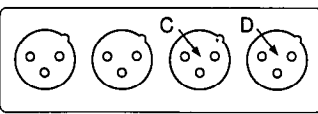
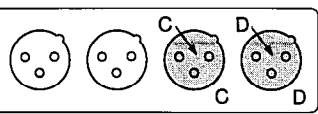
MENU No. 1013 (Hi-Fi REC SELECT)		NORMAL INPUT				Hi-Fi INPUT			
記録 される信号	INPUT JACK	NORMAL CH1	NORMAL CH2	Hi-Fi CH1	Hi-Fi CH2	NORMAL CH1	NORMAL CH2	Hi-Fi CH1	Hi-Fi CH2
	実際に記録される信号	NORMAL CH1	○	※1 ○×	×	×	○	※1 ○×	×
NORMAL CH2		×	※2 ○×	×	×	×	※2 ○×	×	×
Hi-Fi CH1		○	×	×	×	×	×	○	×
Hi-Fi CH2		×	○	×	×	×	×	×	○

※1 : NORMAL CH2 に入力される信号は通常、NORMAL CH1 には記録されませんが MENU No. 1014 (CH1 REC) を 01 (MIX) 側にすると NORMAL CH1 トラックへ CH2 音声 MIX 記録されます。

※2 : ポケット SW 部の AUDIO CH2/LTC SW が AUDIO CH2 側の時に記録できます。但し、MENU No. 1014 (CH1 REC) を 01 (MIX) 側で記録した場合、再生時 AUDIO CH2 及び AUDIO MONITOR CH2 OUT からは音声は出力されません。

注意 : Hi-Fi INPUT JACK に音声を入力していても MENU No. 1013 (Hi-Fi REC SELECT) が NORMAL INPUT になっているとその入力音声は Hi-Fi 記録できません。

◇ AG-7500A との比較 AG-7750 の場合 (Hi-Fi REC SW ON)

AG-7500A の場合	Hi-Fi REC SELECT が NORMAL INPUT の場合	Hi-Fi REC SELECT が Hi-Fi INPUT の場合
 <p>● の入力端子には A の音声が自動的に入力された状態と同じになっています。</p>		
 <p>● の入力端子には B の音声が自動的に入力された状態と同じになっています。</p>		
 <p>● の入力端子には図のように A と B が自動的に入力された状態と同じになっています。</p>	 <p>① A、B の音は自動的に Hi-Fi CH1、CH2 音声として記録されます。(注意 参照)</p>	
 <p>● の入力端子には A の音声が自動的に入力された状態と同じになっています。</p>	 <p>② A、B の音は自動的に Hi-Fi CH1、CH2 音声として記録されます。(注意 参照)</p>	
 <p>● の入力端子には B の音声が自動的に入力された状態と同じになっています。</p>	 <p>③ A、B の音は自動的に Hi-Fi CH1、CH2 音声として記録されます。(注意 参照)</p>	
 <p>各入力端子には図のように A B C D の音が入力されています。</p>	 <p>④ A、B の音は自動的に Hi-Fi CH1、CH2 音声として記録されます。(注意 参照)</p>	
		
		
		
<p><注意> HD 音声専用入力端子に接続した音声は、接続した入力端子だけに入力されています。(音声入力端子には入力されておられませんのでください。)</p>	<p><注意> “Hi-Fi REC SELECT” が NORMAL INPUT の場合 Hi-Fi 入力端子に音声を入力してもその音は無視されます。</p>	

※1、※2 については前項を参照してください。

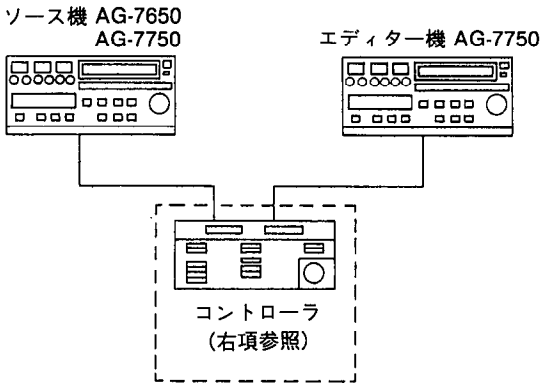
5 システム接続について

• 接続可能なシステムと注意点をまとめましたのでご参照ください。

1. 34P システム

① コントローラ

- VTR の REMOTE OPERATION “34P” (メニュー NO. 3003 “01”)
- AG-7750 の 34P CONTROLLER TYPE (メニュー NO. 3005 の使用 CONTROLLER を設定してください。)
- AG-A800、AU-A65 による T/C (LTC) 編集時 → ポケット SW “EXT” “PRESET”

接続条件：コントローラによる場合	接続できるコントローラ	備考・注意点
 <p>ソース機 AG-7650 AG-7750</p> <p>エディター機 AG-7750</p> <p>コントローラ (右項参照)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) AG-A750 <ol style="list-style-type: none"> a) VTR SELECT を “1” に設定してください。 2) AG-A650 <ol style="list-style-type: none"> a) VTR SELECT を “1” に設定してください。 3) AG-A800 <ol style="list-style-type: none"> a) VTR SELECT を “1” に設定してください。 b) 調相編集する場合 <ul style="list-style-type: none"> • AG-A800 の CAP OVERRIDE SW を “OFF” にしてください。 • PREROLL TIME を “7 秒” 以上に設定してください。COLOR FRAMING にはしないでください。 4) AU-A65 <ul style="list-style-type: none"> • 編集タイミングを “-8” に設定してください。 5) NV-A500 <ol style="list-style-type: none"> a) VTR SELECT を “1” に設定してください。 6) NV-A505 <ol style="list-style-type: none"> a) VTR SELECT を “1” に設定してください。 	<p>備考・注意点</p> <p>a) ポケット部の MODE SW を “EE” にしてください。</p> <p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> • READY ON/OFF にてテープが移動 但し、編集精度には関係無し • ASSY 終了で CTL が 1 ずれる。 <p>a) コントローラ TYPE を “1” に設定してください。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • 編集 OUT 点に 1 フレーム多く編集される。 <p>a) 34P SHTL MAX SPEED を “*10” (メニュー NO. 3004 “00”) に設定してください。</p> <p>a) 34P SHTL MAX SPEED を “*10” (メニュー NO. 3004 “00”) に設定してください。</p>

② VTR

接続条件：VTR による場合	接続できる VTR	備考・注意点
<p>ソース機 (右項参照)</p> <p>エディター機 AG-7750</p> <p>AG-A800 AG-A750</p> <p>ソース機 AG-7650 AG-7750</p> <p>エディター機 (右項参照)</p> <p>AG-A800 AG-A750</p>	<p>1) AG-7500A</p> <p>2) NV-9600</p>	<ul style="list-style-type: none"> • AG-7500A の方が PLAY の立ち上がりが約 1 フレーム早くなります。 AG-7750 同士のシステムの方をお勧めします。調相すれば問題ありません。 • NV-9600 の方が PLAY の立ち上がりが 2~4 フレーム早くなります。 • NV-9600 (エディター) では 1 フレーム編集はできません。

2. 9P システム

① コントローラ

- VTR の REMOTE OPERATION “9P” (メニュー NO. 3003 “00”)
- Ref. は必ず接続し SYNC “EXT” のこと
- カラーフレーミングはありません。
- Time-Code 編集する場合は T/C “PRESET” とすること
- FF/REW は 32 倍速 (FULL LOADING のため) となります。

接続条件：コントローラによる場合	接続できるコントローラ	備考・注意点
<p>ソース機 AG-7650 AG-7750</p> <p>エディター機 AG-7750</p> <p>コントローラ (右項参照)</p>	<p>1) AG-A800</p> <p>a) 編集タイミング “-8”</p> <p>b) PREROLL TIME は “5 秒” 以上に設定してください。 AU-A650B パネルは AG-A800 と同じ</p> <p>2) AU-A65</p> <p>a) 編集タイミング “-8”</p> <p>b) PREROLL TIME は “5 秒” 以上に設定してください。</p> <p>3) ソニー RM-450</p> <p>a) 編集タイミング “-7”</p> <p>b) PREROLL TIME は “5 秒” 以上に設定してください。</p> <p>4) ソニー BVE-900 (910)</p> <p>a) 編集タイミング “-8”</p> <p>b) PREROLL TIME は “5 秒” 以上に設定してください。</p> <p>c) TC SOURCE SELECT を LTC:VITC+、LTC+、VITC+、CTL の何れか。</p>	<p>a) 9P DEVICE TYPE SELECT “S-VHS ID” (メニュー NO. 3002 “01”)</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • VTR 側にて REMOTE/LOCAL を切り替えた時、編集 SELECT 釘は VTR と CONTROLLER とで異なります。 <p>a) 9P DEVICE TYPE SELECT “S-VHS ID” (メニュー NO. 3002 “01”)</p> <p>a) 9P DEVICE TYPE SELECT “OTHER TYPEs” (メニュー NO. 3002 “00”)</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • 編集点が +1 ずれる。 • AUDIO CH2 トラックに LTC のインサートはできません。 • JOG にて **/32 のスピード表示となります。 <p>a) 9P DEVICE TYPE SELECT “OTHER TYPEs” (メニュー NO. 3002 “00”) BVE-900 の DEVICE TYPE “1000”</p> <p>a) 9P DEVICE TYPE SELECT “S-VHS ID” (メニュー NO. 3002 “01”) BVE-900 の DEVICE TYPE “A080”</p>

② VTR

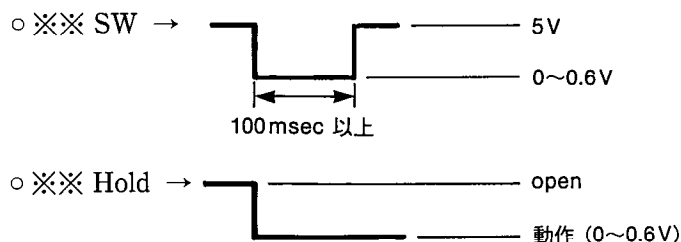
接続条件：VTR による場合	接続できる VTR	備考・注意点
<p>ソース機 (右項参照)</p> <p>エディター機 AG-7750</p> <p>コントローラ AG-A800</p> <p>ソース機 AG-7650 AG-7750</p> <p>エディター機 (右項参照)</p> <p>コントローラ AG-A800</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) AU-65 2) VO-9850 3) VO-9800 4) BVU-950 	

⑥ 34P リモート端子について

1. 34P 端子の内容について

出力: ← 入力: ←

ピン番号	名称	内容	出力 入力	ピン番号	名称	内容	出力 入力
1	REC SW	①でREC動作	←	18	CTL 出力	CTL パルス出力 (12V _{p-p})	→
2	PLAY SW	①でPLAY動作	←	19	リモート 19	サーチモード切換	←
3	FF SW	①でFF動作	←	20	スタート出力	テープ始端で⑨ (12V) その他は①	→
4	REW SW	①でREW動作	←	21	イジェクト SW	①でイジェクト動作	←
5	STOP SW	①でSTOP動作	←	22	インサート	オーディオ CH1 インサート①	←
6	—	未使用	—	23	REC Hold	REC時① その他はオープンコレクタ	→
7	ポーズ SW	①でポーズ動作	←	24	PLAY Hold	PLAY① その他はオープンコレクタ	→
8	カセットダウン	カセットダウン時① その他はオープンコレクタ	→	25	FF Hold	FF① その他はオープンコレクタ	→
9	カット IN	カット IN時① その他はオープンコレクタ	←	26	REW Hold	REW① その他はオープンコレクタ	→
10	—	未使用	—	27	インサート	オーディオ CH2 インサート①	←
11	サーボロック	サーボロック時①	→	28	—	未使用	—
12	GND	—	—	29	ポーズ Hold	ポーズ① その他はオープンコレクタ	→
13	コマ送り SW	サーチポーズ中に①にするとステップ送りする。	←	30	リモート 30	サーチモード切換	←
14	カウント制御	コントローラのカウント制御 カウント減算指令① カウント加算指令オープン コレクタ	→	31	インサート Hold	インサート時① (カットイン) その他はオープンコレクタ	→
15	編集終了 SW	①で終了動作	→	32	映像インサート	映像インサート①	←
16	編集 SW	①で編集動作	←	33	リモート 33	サーチモード切換	←
17	リバーズ	①でリバーズ動作切換	←	34	+12V	+12V (許容電流 230mA 以下)	→



2. サーチモード切換について

◇ 34P 内の各サーチモード切換の組合せにより速度をコントロールできます。

Ⓜ : OPEN Ⓛ : GND

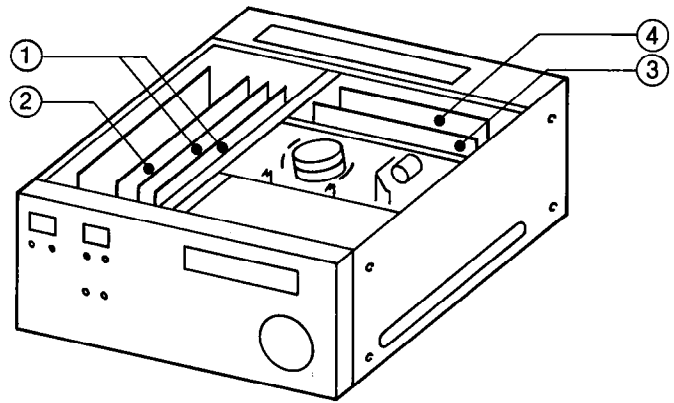
モード ピン No.	^{※1} -×10	-×6	-×2	-×1	-×1/2	-×1/4	-×1/8	-×1/25	×1/25	×1/8	×1/4	×1/2	×1	×2	×6	^{※1} ×10
19	L	H	L	H	L	H	L	H	H	L	H	L	H	L	H	L
30	H	H	H	H	L	L	L	L	L	L	L	L	H	H	H	H
33	L	L	H	H	H	H	L	L	L	L	H	H	H	H	L	L
17	L	L	L	L	L	L	L	L	H	H	H	H	H	H	H	H

※1 SETUP MENU No. 3004 (34P SHTL MAX SPEED) の設定により ×10 と ×20 の選択が可能です。

7 エクステンションボード (延長基板) について

◇ AG-7750/7650 のプリント基板でマザーボードに垂直に連立している下記のプリント基板はエクステンションボードを用いてサービスを実施してください。

No.	対象基板
※ ①	TBC (1) プリント基板 TBC (2) プリント基板
②	TBC (3) プリント基板
③	サーボ・シスコプリント基板
④	インターフェースプリント基板

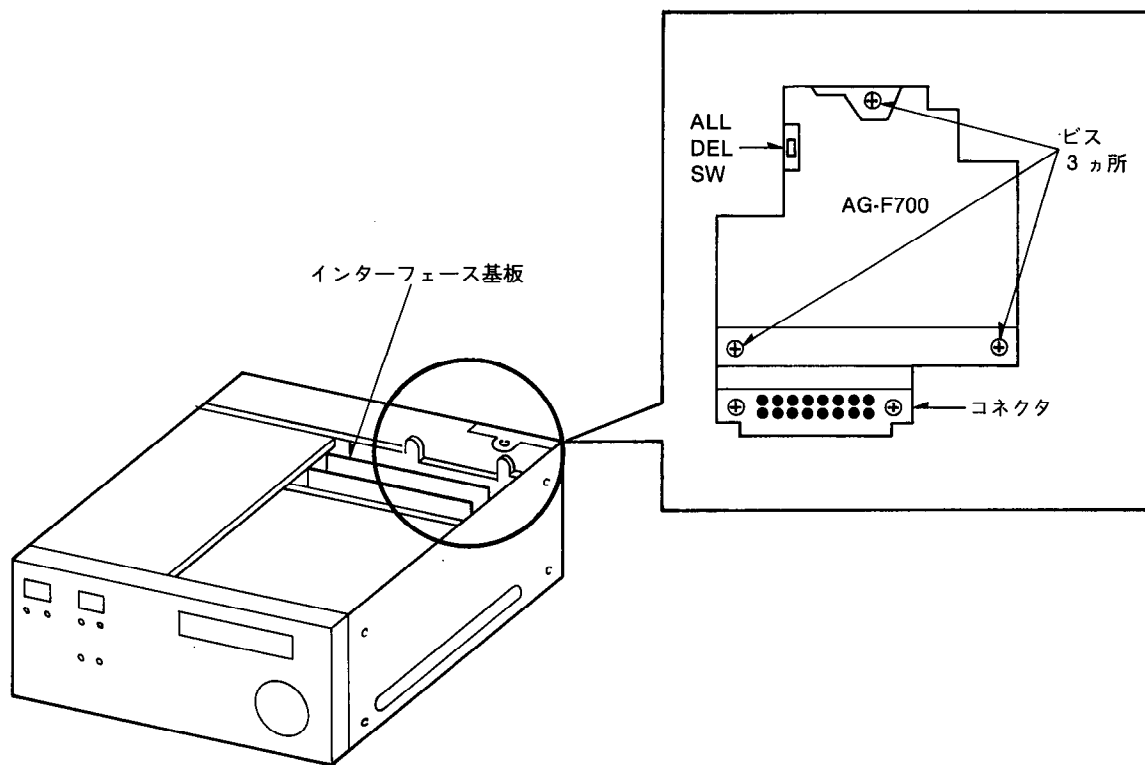


※ TBC (1)、(2) については基板は 2 枚ですが、つながっているの
で TBC (2) の方を延長する様
になっています。

8 タイムコード基板 (AG-F700) の取り付けかた (AG-7750/7650)

※ 基板の取り付け、取り外しの際は必ず電源を切った状態で実施してください。

1. デッキの上カバーを外します。
2. 下図のインターフェース基板にコネクタを差し込みます。
3. 付属のビス 3 ヶ所にて固定します。



Panasonic